

平成 29 年度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

# 目 次

## 第1 事業報告書

1 設立目的及び概況	1
2 役員等の状況	2
3 理事会等の開催	4
4 定款の変更	4
5 職員の状況	5
6 事業の実施状況	6
7 事業報告の附属明細書	7 3

## 第2 決算報告書

1 貸借対照表	7 4
2 貸借対照表内訳表	7 6
3 正味財産増減計算書	7 7
4 正味財産増減計算書内訳表	8 1
5 財務諸表に対する注記	8 5
6 附属明細書	8 7
7 財産目録	8 8

# 事 業 報 告 書

## 第1 事業報告書

### 平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

#### 1 設立目的及び概況

##### (1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

##### (2) 概況

###### ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

###### イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

###### ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 2 役員等の状況

### (1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理 事	1 1 人
監 事	2 人
評 議 員	1 2 人

### (2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成29年 4月 1日	理 事 長	岡 村 清 治	就 任
	専務理事	佐名田 敬 荘	重 任
	常務理事	栄 谷 洋	重 任
	理 事	石 田 源次郎	重 任
	理 事	打 越 黙	重 任
	理 事	垣内田 攻 樹	退 任
	理 事	上向井 利 之	就 任
	理 事	児 玉 吾 郎	重 任
	理 事	中 越 信 和	重 任
	理 事	中原 裕 子	重 任
	理 事	桝 井 秀 雄	重 任
	理 事	益 淵 正 典	重 任
	理 事	松 本 幸 雄	重 任
	理 事	宮 崎 智 三	重 任
	理 事	渡 邊 一 雄	重 任
平成29年 6月 14日	監 事	藤 田 悟	辞 任
平成30年 3月 31日			

イ 平成30年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理 事 長	岡 村 清 治	平成29年 4月 1日
専務理事	佐名田 敬 荘	平成27年 4月 1日
常務理事	栄 谷 洋	平成28年 4月 1日
常務理事	南 心 司	平成27年 4月 1日
理 事	石 田 源次郎	平成24年 4月 1日
理 事	上向井 利 之	平成29年 6月 14日
理 事	打 越 黙	平成17年 7月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事	児 玉 吾 郎	平成 27 年 3 月 27 日
理 事	中 越 信 和	平成 17 年 7 月 1 日
理 事	中 原 裕 子	平成 27 年 6 月 10 日
理 事	榎 井 秀 雄	平成 17 年 7 月 1 日
理 事	益 渕 正 典	平成 21 年 7 月 1 日
理 事	松 本 幸 雄	平成 21 年 7 月 1 日
理 事	宮 崎 智 三	平成 29 年 3 月 28 日
理 事	渡 邊 一 雄	平成 17 年 7 月 1 日
監 事	神 田 敏 治	平成 19 年 7 月 1 日
監 事	藤 田 悟	平成 28 年 4 月 1 日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役 職	氏 名	異動内容
平成 29 年 6 月 14 日	評議員	玖 島 操	辞 任
	評議員	林 哲 治	辞 任
	評議員	田 邊 朋 子	就 任
	評議員	山 岡 裕 幸	就 任
平成 30 年 3 月 31 日	評議員	中 島 保 廣	辞 任

イ 平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員	大 橋 啓 一	平成 28 年 6 月 9 日
評議員	尾 楠 美代子	平成 26 年 3 月 27 日
評議員	真 宅 成 光	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	竹 澤 寿 幸	平成 25 年 8 月 1 日
評議員	田 邊 朋 子	平成 29 年 6 月 14 日
評議員	寺 内 優	平成 25 年 6 月 10 日
評議員	富 川 久美子	平成 28 年 6 月 9 日
評議員	中 島 昌 子	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	中 島 保 廣	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	中 坪 孝 之	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	藤 井 敏 男	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	山 岡 裕 幸	平成 29 年 6 月 14 日

### 3 理事会等の開催

#### (1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成29年 4月 1日 (決議の省略)	平成29年度 第1回	1 理事長の選定の決議について	選 定
平成29年 5月29日	平成29年度 第 2 回	1 平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成28年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持について講じた施策に関する報告について	承 認 終 終 了 了
平成29年 6月14日 (決議の省略)	平成29年度 第 3 回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選 定 選 定
平成30年 3月 8日 (決議の省略)	平成29年度 第 4 回	1 平成29年度第2回評議員会の招集について	原案可決
平成30年 3月28日	平成29年度 第 5 回	1 平成30度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 2 平成30年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承 認 原案可決 終 了

#### (2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成29年 6月14日	平成29年度 第 1 回	1 平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承 認 選 任 選 任 終 了
平成30年 3月28日	平成29年度 第 2 回	1 平成30度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について(説明事項)	-

### 4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

## 5 職員の状況

平成30年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分			事務職員						技術職員						技能業務職員	非常勤職員	合計
			部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計			
緑化管理部	経営企画課		2	1	4	2	9						3	3	1	2	15
	昆虫館					1		1		1	1	2	2	6	1	1	9
動物公園	管理課		1		3	4	8					1	3	4	3	18	33
	飼育・展示課								1	1	7	20	29		2		31
植物公園	管理課		1	1	2	2	6	1				1	2	4	1	1	12
	栽培・展示課								1			6	4	11		7	18
合計				4	2	10	8	24	1	3	2	17	34	57	6	31	118

## 6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

### (1) 公益目的事業

#### ① 緑のまちづくり [公1事業]

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

##### ア 緑化思想の普及啓発

###### (ア) グリーンフェア

名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	4月 7日 ～ 4月16日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、入口ゲートの花飾り、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。(4月9日は廣島古物會の販売会を同時開催)	約73,000人
秋のグリーンフェア	10月 7日 ～10月15日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、植物ふれあいオリエンテーリングや花と緑の講習会などを行った。	9,681人

###### (イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
インターネット・ ホームページ広報 <small>(72ページの収益事業等に重複記載)</small>	通 年	インターネットを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 162,468件
マスコミ広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	9件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

名 称	時 期	場 所	内 容	参加者数
初夏のハンギング バスケットづくり	6月13日	中央公園 ファミリープール	インパチェンス、コリウスなどを使用した、初夏らしいハンギングバスケット作りを実演指導した。	22人
苗木の植え方・育て方	10月 7日	植物公園 (秋のグリーンフェア)	記念樹緑化事業における苗木の配付に合わせ、苗木の植え方や育て方を指導した。	11人
クリスマスに ぴったりな寄せ植え	11月10日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチア、アイビー・ヘデラ等を使用した、クリスマスにぴったりな寄せ植えの作り方を実演指導した。	23人
新春を迎える 寄せ植え	12月 8日	中央公園 ファミリープール	梅、葉牡丹、シクラメン、福寿草のほか、石材、コケなどを使用した、新春らしい寄せ植えの作り方を実演指導した。	26人

(イ) 緑のカーテン設置補助金の交付など [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	4月 5日 ～ 5月 9日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	81 件	438,000 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	5月 2日 ～ 6月 6日 9月 4日 ～10月 6日	民有地内で多くの人の目に触れる場所(道路に面した場所)において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	50 件	352,800 円
記念樹の贈呈	7月15日 ～ 8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹(苗木)を贈呈した。	133 件	271,728 円
民間建築物等緑化事業 補 助 金 の 交 付	—	ホームページなどで制度の案内を行ったが、交付申請がなかった。	0 件	—

(イ) 緑化指導者の派遣 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	参加者数等
講習会への緑化指導者の派遣	通 年	草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 31回 参加者数 606人

(エ) 出版物の発行 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	発行部数
ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテンつくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	3,500 部

ウ 貢献者の表彰 [みどり生きもの協会賞基金事業]

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

<広島市みどり生きもの協会奨励賞>

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
ボランティアほことり会	実 務	瀬野川沿いを憩いの場とするため、ほことり広場の河川敷法面に桜や芝桜の苗の植え付けを行い、桜が満開で多くの人が訪れる光景は春の風物詩となっており、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど広島市の緑化推進事業の発展振興に貢献した。
広島清流ライオンズクラブ	実 務	本川エリアを中心に広島の街並みが花と緑で美しい場所になるようにとの願いのもと、間伐材を利用した木製プランターを広島市に寄贈し、その後も花苗購入費用の助成や花の植替え作業を継続して行い、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に貢献した。

## ② 動物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

### ア 動物の飼育・展示など

#### (ア) 動物の飼育・展示

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[エントランスゾーン] アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	サバンナのコピエをイメージしたヒヒ山では、身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示し、開園時間に給餌を実施する等社会性が観察できる展示を行った。また、色鮮やかなフラミンゴ4種を群れで混合展示し、展示場内で繁殖行動を観察できる展示を行った結果、2羽の繁殖に成功した。ときわ動物園とペリカンの雌1羽を平成30年度に導入する動物交換契約を締結した。
[アフリカゾーンⅠ] サバンナゾウ、 マルミミゾウ、 アミメキリン、 グラントシマウマ、 ケープハイラックス など	アフリカの雰囲気を醸し出すため、サバンナゾウ、マルミミゾウ、アミメキリン、グラントシマウマ、ケープハイラックスなどを広い放飼場一帯に展示した。マルミミゾウは、引き続き日・祝日に公開調教を行い、ゾウの能力や飼育手法を解説し、野生動物の魅力がわかる展示を行った。アミメキリンは、5頭の群れ展示を継続し、「まいにち動物解説」や「動物観察えさやり体験デー」でキリンの生態等を解説した。グラントシマウマは、平成29年7月に繁殖した子どもが順調に成育し、国内最大級となる15頭の群れ展示を継続した。ケープハイラックスは、平成28年2月に導入した雌2頭の繁殖に取り組み新たな血統の更新を図った。また、7頭の子どもが成育し、子育てを見ることができる群れ展示を行った。
[アフリカゾーンⅡ] チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	アフリカに生息するチーター、クロサイ、ミーアキャット、アフリカスイギュウなどを展示した。チーターは、敏捷な動きを観察できる展示を行い、繁殖に向けて同居を試みた。重症熱性血小板減少症候群(SFTS)により2頭が死亡したが、今後新たな個体の導入を図り繁殖を目指す。クロサイは、平成28年8月に産まれた雌(愛称:ニコ)が順調に成育している。動物が間近に寄るライノテラスで「まいにち動物解説」を行った。また、平成29年7月にクロサイのハナは51歳を迎える、長寿世界記録を更新した。ミーアキャットは、10頭以上の群れ展示を行い、穴掘りや日光を浴びて立つ姿を見せた。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[サルのなかま] チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジー、マンドリル、ダイアナモンキー、ブラッザグエノンなど多様なサル類を展示した。マンドリルは、その能力、形態、行動についてヒトとの違いを学べるよう、「まいにち動物解説」を行った。チンパンジーは、アリ塚から木の枝を利用して蜂蜜をなめとる姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の知能の高さが学べる展示を引き続き行った。ブラッザグエノンは、ときわ動物園から新たに雌1頭を導入し、展示の充実と繁殖への取り組みを行った。
[パーちくパーク] ポニー、テンジクネズミ、 大型インコ類、ウサギ、 ブタなど	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由にふれあえる広場を提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、テンジクネズミとのふれあい体験を実施して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操のかん養を図った。また、色鮮やかな大型インコ類を展示了。ルリコンゴウインコが2羽、アオメキバタンが1羽孵化し順調に育っている。ことりの家ではウズラ、ヒメウズラ、クジャクバト等が繁殖し多種の鳥類によるにぎやかな展示を行った。ウサギは6頭が誕生し、ウサギトンネルにおいて子育ての様子を展示了。また、血統更新のためヒツジの雄1頭を導入した。子育ての家ではオオサンショウウオの幼体・成体を展示了。
(はちゅう類館) リクガメ広場 ワニ、ヘビ、コウモリ、 オオサンショウウオ、 リクガメ、ゾウガメなど	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、ムササビなどを展示するとともに、キクガシラコウモリを導入しコウモリ類の展示を充実させた。順調に繁殖を続けるキンカジューの飼育場を拡張し展示の充実を図った。バックヤードガイドで、夜行性動物の生態や特長、飼育の現場について解説した。2階には、ワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを展示了。リクガメ広場では、リクガメ類を展示了。ホウシャガメは、平成29年9月に当園では初めて繁殖に成功し1頭が成育した。
[アジアの草食動物] マレーバク、 ブラックバックなど	マレーバク、ブラックバック、フタコブラクダ、キョンなどアジアの様々な環境に生息する草食獣を展示了。フタコブラクダのバックヤードガイドを実施し、砂漠に適応したラクダの特長やその飼育について解説した。ブラックバックは、順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。キョンは、将来の整備計画を見据えて繁殖制限に取り組んだ。
[日本の動物] ツキノワグマ、 キツネなど	身近な動物について学ぶため、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、アナグマ、イノシシなど広島県内に生息する動物を展示了。 アナグマは、平成29年3月に生まれた3頭が順調に成育し、タヌキとともに多頭展示を行った。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[大鳥舎] オシドリ、バンなど	オシドリの生息地である森林の河川やマガモ、シジュウカラガンなどの生息地である開けた湿地・湖沼に似せた環境で、水鳥を展示した。ツクシガモは、18年ぶりに繁殖に成功し3羽が成育した。オシドリは、4羽の繁殖に成功し、子育ての模様や成長過程が観察できる展示を行った。サカツラガンは雄の導入先を調査中である。
[西園] レッサーパンダ、 シロフクロウなど	レッサーパンダは、平成29年5月に雄の「キラ」を、平成30年2月に雌の「ヨウヨウ」を導入し、新たな2組の繁殖ペアを形成して繁殖に取り組むとともに展示の充実を図った。シロフクロウは、平成29年11月に新たに雌を導入し展示を充実させるとともに繁殖に取り組める構成とした。シフゾウは、雌の発情に合わせて、引き続き同居を行っている。ユーラシアカワウソは、雄1頭を導入し展示の充実を図るとともに繁殖に取り組んだ。ニホンカモシカ、タンチョウ、コウノトリなど日本に生息する動物の展示も行った。
[肉食動物ゾーン] ライオン、トラ、 ヒョウなど	ライオンは、平成29年4月に雌2頭を導入し、群れ展示を再開した。土・日・祝日にはガラス展示スペース「レオガラス」での「レオガラスお食事タイム」による迫力のある給餌と解説を行った。アムールトラ、アムールヒョウは、強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。アムールヒョウは、繁殖に取り組み、アムールトラは、雄の導入先を検討中である。

#### 【動物の飼育展示数】

(平成30年3月31日現在)

区分	種類	点数
哺乳類	62種	674点
鳥類	48種	606点
爬虫類	32種	256点
両生類	4種	305点
魚類	10種	1,564点
合計	156種	3,405点

(イ) 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容																												
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持とともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。																												
飼育下繁殖	ブラックバッカ、オオフラミンゴ、ホウシャガメ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。																												
ブリーディングローン	<p>所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。</p> <p>(単位:頭)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>哺乳類</th> <th>鳥類</th> <th>爬虫類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">29年度 新規</td> <td>借入</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全体</td> <td>借入</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>貸出</td> <td>49</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <p>29年度借入: レッサーパンダ(鯖江市、旭川市)、マンドリル(京都市)、チンパンジー(札幌市)      29年度貸出: レッサーパンダ(富士自然動物園)、グラントシマウマ(愛媛県動物園協会、富士自然動物園)、クロサイ(熊本市)、ケープハイラックス(長崎バイオパーク)、ルリコンゴウインコ(松江フォーゲルパーク)、シロフクロウ(松江フォーゲルパーク、福岡市)</p>			哺乳類	鳥類	爬虫類	合計	29年度 新規	借入	4	0	0	4	貸出	25	4	0	29	全体	借入	23	1	1	25	貸出	49	30	0	79
		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計																								
29年度 新規	借入	4	0	0	4																								
	貸出	25	4	0	29																								
全体	借入	23	1	1	25																								
	貸出	49	30	0	79																								
動物交換	<p>グラントシマウマなどの余剰動物を他園と交換して、必要な動物を入手し、新しい血統の確保を図った。</p> <p>導入: ライオン、ヒツジ、ブラッザグエノン、シロフクロウ、カナリア、ベニスズメ、セイキチョウ、ジュウシマツ、オオフラミンゴ</p> <p>放出: グラントシマウマ、フサオネズミカンガルー、ブラックバッカ</p>																												
血統登録・血統管理	<p>希少種の保存を進めるに当たり、(公社)日本動物園水族館協会が行う血統登録に協力した。</p> <p>レッサーパンダやユーラシアカワウソを導入し、グラントシマウマやケープハイラックスを放出するなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。</p>																												

名 称	内 容
動物の飼育管理及び展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。クロサイのハナに関しては、飼育管理を徹底し長寿世界記録を更新した。高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類の隔離、放飼場への野鳥よけネット等の設置を実施した。また、平成29年11月12日からは大鳥舎、小鳥舎への入場を中止し防疫を行った。ネコ科の動物に感染する可能性のある重症熱性血小板減少症候群(SFTS)対策として、マダニ駆除のための薬剤散布や草刈を行った。
展示環境の改善 (環境エンリッチメントの強化)	生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、チンパンジー舎内の消防ホースを使ったハンモックの設置、ゾウ放飼場でのヘイネット(給餌用ネット)設置による給餌様式の多様化、サル舎等への渡り木の設置、餌を探させることを目的とした運動場への落ち葉の敷き詰めや遊び道具の設置など展示環境に工夫を加えた。

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

区分				入園者数	使用料				
有料入園者	個人		大人	18歳以上 65歳未満	510円	167,682人	85,517,820円		
			65歳以上	170円	10,909人	1,854,530円			
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	3,300人	561,000円		
	年間パスポート	購入		大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	7,993人		
				65歳以上	510円	626人	319,260円		
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	5人		
	年間パスポート	提示		大人	18歳以上 65歳未満	ー	26,866人		
				65歳以上	ー	2,344人	ー円		
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	ー	13人		
	団体			大人	18歳以上 65歳未満	430円	11,903人		
				65歳以上	130円	345人	44,850円		
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	3,070人		
優待割引	個人		大人	18歳以上 65歳未満	430円	951人	408,930円		
			65歳以上	130円	78人	10,140円			
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	22人	2,860円		
	年間パスポート	購入	大人	新成人	510円	34人	17,340円		
小計				236,173人		106,565,890円			
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)					241,188人		0円		
合計					477,361人		106,565,890円		

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
「ポニ一体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬 参加者にポイントカードを発行し、利用回数に 応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 5,408 枚 特典供与人数 延べ 309 人
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を 提供するため、植物公園・昆虫館と共に利用で きる年間パスポートを販売し、利用者に対するサ ービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 8,658 枚
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を 目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換 券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 90 冊
広島市交通科学館 との相互利用促進 (広島高速交通㈱共同事業)	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手 施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団 体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図っ た。	791 人
公共交通機関利用者 への特典付与	通 年	駐車場不足による渋滞対策として、路線バスや アストラムラインを利用して来園した者に対 し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、 公共交通機関利用による来園を促進した。	2,234 人
旅行代理店と連携 した観光客の誘致	通 年	旅行代理店に入園者の誘致のための広報宣伝 を委託するとともに、旅行代理店が発行したク ーポン券利用の入園者に売店、食堂等の商品の 割引サービスを実施することにより、観光客の 増加を図った	17 件
アニマルカードの 進 呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルア ニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努 めた。	7,222 枚
電動カートの運行	通 年	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への移動手 段として、電動カートを運行し、入園者サービ スの向上を図った。	8,809 人
ノルディック ウォーキング用 ポールの貸出	通 年	安佐動物公園の年間パスポートを購入された 安佐地区の住民を対象にノルディックウォー キング用ポールの貸し出しを行い、地域の健康 づくりの取組みを支援するとともにリピーター の増加を図った。	貸出件数 1 件

名 称	時 期	内 容	入園者数等
広島駅南口地下広場 柱巻案内看板の設置	通 年	J R 広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。	柱 写真 5 か所 延べ 50 枚
外 国 語 リーフレット の 活 用	通 年	英語や中国語のリーフレットを観光案内所を通じて配布することにより外国人観光客の増加を図った。	平和記念公園レストハウス観光案内所 J R 広島駅南口観光案内所など
新 成 人 年 間 パスポート割引販売	4月 1日 ～5月 31日	平成 29 年 5 月末を期限として 65 歳以上の者と同額に割引くことで 20 歳代のリピーターの増加を図った。	販売 提示 24 人 11 人
ベビーカーの無料 貸出 サ ー ビ ス	5月 8日 ～6月 30日	平日に、乳幼児を連れて公共交通機関で来園した保護者に、ベビーカーを無料で貸し出し、子育て世代の利用促進を図った。	16 人
休 園 日 の 開 園	5月 2日 10月 5日 10月 12日 10月 19日 10月 26日 11月 22日 1月 1日 1月 4日 3月 29日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、お盆、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	3,820 人 1,795 人 1,610 人 1,354 人 845 人 116 人 1,146 人 1,313 人 1,671 人 合計 13,670 人
がんばれカープ！ カープミニ 新幹線に乗ろう	5月 6日 9月 23日 3月 31日	展望広場で㈱広島東洋カープから広島市に寄贈されたカープミニ新幹線を走らせ、ファミリー層の利用促進を図った。	1,401 人
宮島水族館との連携	7月 15日 ～1月 31日	宮島水族館と連携し、合同 PR イベントとスタンプラリーを実施し、観光客等の増加を図った。	スタンプラリー参加者 安佐動物公園 1,144 人 宮島水族館 1,660 人
ミストシャワー	7月 21日 ～10月 1日	夏季の入園者増加対策として、霧のシャワーを通り抜けできる涼感コーナーを設置し、サービスの向上を図った。	—

名 称	時 期	内 容	入園者数等
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	8月12日 8月13日 8月19日 8月20日 8月26日 8月27日 9月 2日 9月 3日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 4,597人 5,036人 6,358人 4,027人 5,195人 3,719人 8,551人 5,105人 合計 42,588人
安 佐 動 物 公 園 ウォーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	10月21日	シニア層を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウォーキング大会を開催した。	165人
しめ縄作り体験	12月23日	お正月に向け、日本固有の文化であるしめ縄作り体験を開催し、年末の入園者の増加を図った。	100人
お客様感謝デーの実施	12月23日 1月 8日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上並びに入園者及び収入(駐車料等)の増加を図った。	1,923人 243人 合計 2,166人
新成人年間パスポート割引販売	1月 8日 ~3月31日	平成30年5月末を期限として65歳以上の者と同額に割引くことで20歳代のリピーターの増加を図った。	販売 提示 10人 21人
あつたか動物園	1月15日 ~1月30日	期間中、平日の来園者全員に使い切りカイロをプレゼントすることで寒い時期の利用促進を図った。	配布 925枚
バレンタインデーは 「動物園でデート」	2月11日 ~2月14日	バレンタインデーを含む週末に、来園した独身カップルにドリンク券をプレゼントした、若者の利用促進を図った。	配布 利用 253枚 197枚

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット(外国人向けのものを含む)や園内放送などにより利用案内を行った。

名 称	時 期	内 容
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 9月17日に日浦学区の土砂災害危険箇所へ台風18号に伴う避難勧告発令により臨時閉園した。高病原性鳥インフルエンザの国内監視レベルが危険レベルになった平成29年11月12日から入退場門に消毒マットを設置した。
園内情報の提供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
おもてなしの送迎	通 年	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。
スマートフォン等用園内ガイドアプリの活用	通 年	スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。 (ダウンロード件数 5,381件)

(カ) 施設の維持補修など

名 称	時 期	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、食堂バクバク及びリクガメ広場の藤棚並びに展望広場コンクリート遊具の塗装、園内通路及び横断陸橋スロープ舗装などを行った。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	10回
希少動物の保護	通 年	(公社)日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	26点
姉妹動物園との交流	通 年	ホノルル動物園から平成28年8月に1000ドルの寄付を受け、平成29年度に国立科学博物館とのオオサンショウウオに関する共同研究に役立てた。また、ホノルル動物園に譲渡したオオサンショウウオの個体の治療や展示開始に伴う同居について助言を行った。	2件
日本オオサンショウウオの会の活動	10月7日 ～10月8日	鳥取県西伯郡南部町で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1回

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、オヒキコウモリについては、安佐北高等学校の校舎や広島大学医学部校舎に生息する個体群の調査を行うとともに、広島大学医学部へ校舎移転に伴う個体群の保全への助言を行った。	オオサンショウウオの野外調査 8回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 5回

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	回 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオや希少種であるヤマネやハヤブサなどの飼育下繁殖や繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、広島県からの受託業務により保全活動に取り組んだ。	4件

(エ) 動物に関する調査・研究等

名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	<p>園内の動物及び県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。</p> <p>1 再整備に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ平原再整備基本設計及びマルミミゾウ舎の実施設計について、構想図や飼育方針などの情報を提供するなど広島市に協力した。</li> <li>・国内外のコビトカバの飼育園館や国際血統登録のコーディネーターへの聞き取りを行い、コビトカバの入手の見込みについて調査した。海外のコビトカバ飼育マニュアル等の収集により、飼育・展示技術の調査を行った。</li> </ul> <p>〔中・長期的取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カワネズミ、キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の県内の生息地に赴き、生息状況や生息環境の調査を行った。</li> <li>・園内に生息しているホンドギツネやムサビの行動について随時調査とともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。</li> </ul> <p>2 繁殖に関する調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、サバンナゾウ、シフゾウの繁殖に関する調査・研究を行った。</li> <li>・他園への聞き取り調査等を行いスマレコンゴウインコの雌の導入に向けた情報を収集した。</li> </ul>
各種資料の収集	通 年	ズーライブックなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・ビデオなどの制作	通 年	レッサーパンダやカワウソの搬入、フラミンゴやヒヒ山の様子などを写真・ビデオ等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議などに参加・発表した。
オオサンショウウオ調査研究・成果の公開	通 年	平成29年11月16日～18日に仙台市で開催された第20回種保存会議で「北広島町松歳川におけるオオサンショウウオの推定個体数と個体群構成の長期比較」のポスター発表を行った。また、大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果をシンポジウムにより市民に公開した。 (シンポジウム参加者 120人)
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月 8日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「地中型巣箱」により成功したツクシガモの自然繁殖」と題して発表した。 (参加者 48人)

(オ) 野生動物の救護

名 称	時 期	件 数 等
野生動物の救護	通 年	哺乳類 9 件 5 種 9 点 鳥 類 65 件 27 種 80 点 爬虫類 4 件 2 種 4 点 両生類 0 件 0 種 0 点 計 78 件 34 種 93 点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	102件 5,172人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	小・中学生の学年やテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 19,500枚
ぴーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあい体験の場を提供した。	乗馬 7,245人 ふれあい 61,379人
動物 ク イ ズ ラ リ ー の 助 成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	21 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	51人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	29 件
教 材 資 料 の 作 製 ・ 貸 出 し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などに貸出した。	骨格標本等教材 97件 543点
専門学校と連携したイベント実習	通 年	専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	6 件
学 べ る 動 物 園	通 年	展示動物の魅力を効果的に伝えるため、飼育係が楽しく分かりやすい解説板を作製し、動物舎前に設置した。	30 件

名 称	時 期	内 容	件 数 等
子ども読書まつり 「だいすき！いきもの」への協力	4月22日 ～5月14日	市内13か所の図書館と連携してスタンプラリー達成者に景品を配布した。	用紙配布 2,701枚 景品交換 65件
青少年のための 科学の祭典広島 大会への参加	10月28日 ～10月29日	子どもたちが自然科学や科学技術の楽しさを 体験する祭典に職員を派遣し、動物に関するレ クチャーを行った。	400人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
出 前 講 座	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生 態や動物公園の仕事などについて講座を行っ た。	21件
理科教育での連携	通 年	近隣にある日浦小学校での理科教育に講師の 派遣、園内で体験学習、情報提供等により協力 した。	5件
教材生物バザール へ の 参 加	5月17日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派 遣し、教材として動物資料を提供した。	1件
教員対象セミナー の 開 催	8月11日	教員と教員を目指す学生を対象に、主に動物の分 類について解説し、教材作りに必要な知識の普及 を図った。	23人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動 物 解 説 ボ ラン テ イ ア	通 年	園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成 し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：50人	活動延べ人数 229人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを 育成し、活動内容の充実を図った。 作業ボランティア登録人数：40人	活動延べ人数 893人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
大学・専門学校と の 協 働	通 年	大学・専門学校と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	広島大学 山口大学 岐阜大学 麻布大学 岡山理科大学 酪農学園大学 京都大学 東邦大学 明治学院大学 近畿大学 パックネル大学(米国) 北海道大学 日本大学 東京農工大学 札幌医科大学 東京農業大学 国立科学博物館 2件 1件 2件 1件 2件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 1件 2件
アフリカゾウの一日警察署長(安佐北警察署)	4月22日	例年交通事故件数が多いゴールデンウィークに向けて、アフリカゾウのメイが「一日警察署長」として交通安全に関するパフォーマンスを披露した。	200人
鹿角ストラップづくり((公財)広島市文化財団)	4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供した。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	1,000人
むし・花・ZOO-ZOOふれあい広場(㈱広島東洋カープ)	5月24日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	テンジクネズミ ふれあい 234人 ヒヨコふれあい 471人
みんなで折ろう動物折り紙((社福)はぐくみの里)	5月20日	広島平和記念公園へ贈られた千羽鶴を再生して作った折り紙で、サイ、ゾウなどの動物を折ることを通じて、来園者の動物への関心や平和への思いを高めた。	57人
ひろしま温暖化ストップフェアへの協力(広島市環境局)	7月28日	フェアに参加し、オオサンショウウオの展示などを通じ生物多様性の大切さと、地球環境保全の必要性について啓発した。	3,200人
ドリームナイト・アット・ザ・ズー(ジブルタルタ生命保険㈱)	8月 5日	障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	2,739人
夕暮れコンサート((公社)広島交響楽協会)	8月13日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	450人
わくわく！安佐動物公園夏休み思い出作り(サンスター㈱)	8月20日	動物の歯や生態に関するステージイベント、バックヤードガイド、キャラクターショー、歯の健康相談などを行った。	1,647人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
防 災 イ ベ ン ト in 安 佐 動 物 公 園 (国土交通省中国地方整備局、 広 島 県 土 木 建 設 局 、 広 島 市 危 機 管 理 室 )	9月 10日	9月1日の防災の日にちなみ、国・広島県・広島市の防災担当と連携し、入園者の防災意識を高めるためのイベントを開催した。	入園者数 3,988人
動物園で投票体験 (広島市選挙管理委員会)	9月 30日 ～10月 1日	模擬投票等の選挙イベントを実施し、若年層の選挙に対する関心を高めた。模擬投票の投票対象を展示動物のイラスト入りカードコラボTシャツとすることにより、動物の知識の普及を図った。	模擬投票者数 9月 30日 416人 10月 1日 495人
秋のグリーンフェア2017 (秋のグリーンフェア 2017 実 行 委 員 会 )	10月 7日 ～10月 9日	植物公園で開催された秋のグリーンフェア 2017 に「いきものランド」としてテンジクネズミなどのふれあいコーナーを開設した。	参加者 1,590人
婚活イベントへの協力 (広島県健康福祉局)	10月 9日	広島県が主催する婚活イベントに協力し、安佐動物公園をイベント会場とする「こいのわ動物園」を開催した。	100人
Z O O ス ポ ! ! 動物園で体力測定 ( (公財) 広島市スポーツ協会)	10月 14日	動物の能力に関連したゲームに参加しながら体力測定ができるイベントを開催した。	140人
どうぶつ重さ長さクイズ (広島市計量検査所・(一社)広島県計量協会・広島市計量協会)	11月 4日	11月1日の計量記念日にちなみ、ゾウの体重と胸囲、ヒキガエルの体重、象牙の重量を入園者に予想してもらい、公開計測を行った。	予想投票数 490票
アフリカゾウの 一 日 消 防 隊 長 (安佐北消防署)	11月 11日	秋の全国火災予防運動に合わせて、アフリカゾウのメイが「一日消防隊長」として、他のゾウと一緒に火災予防パフォーマンスを行った。	250人
ボランティアとの 共 同 イ ベ ン ト	12月 2日	ボランティアが中心となり、動物公園のヒツジの毛を使ってマスコットを作るイベント「フェルトでゆきだるま」を開催した。	100人
広島みなどフェスタ (広島みなどフェスタ実行委員会、 愛媛県立とべ動物園)	3月 17日 ～3月 18日	広島港周辺で開催された広島みなどフェスタに愛媛県立とべ動物園と共同でPRブースを出展した。	参加者 合計 65,000人
動物園大学の開催 ( 京 都 大 学 野 生 動 物 研 究 中 心 )	3月 21日	動物園を活用した研究に関するシンポジウム「動物園大学」を開催した。	333人

(エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：169人、家族会員：47家族 176人、賛助会員：4社)

名 称	時 期	内 容	参加者数等
例 会 (第272回～第277回)	4月 9日	「シロフクロウの人工孵化および人工育雛」(講話)、園内見学	40人
	6月 11日	「雌ライオン2頭来園」「横隔膜欠損マレーバクの経過報告」(講話)、園内見学	46人
	8月 13日	「飼育目線ウェアラブルカメラの解説」「大鳥舎ベビーラッショ」(講話)、園内見学	27人
	10月 8日	「改めて知るオオサンショウウオ」(講話)、園内見学	23人
	12月 10日	安佐動物公園今年の十大ニュース	44人
	2月 12日	「戌年キツネとタヌキの話」(講話)	24人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250部
すづくりの送付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。	各回 250部
自然観察会	6月 4日	ウミネコ、イソヒヨドリ、ハマヒルガオ等の海岸性の動植物の観察を行った。 場所：島根県出雲市日御崎	38人
	2月 10日	ときわ公園のヒドリガモ、カンムリカツブリなどの野鳥の観察とときわ動物園の見学を行った。 場所：山口県宇部市ときわ公園	39人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	5月14日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 415 点 入選 197 点
動物作文・詩コンクール	7月 1日 ～9月15日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 662 点 入選 246 点
動物画コンクール	7月 1日 ～9月15日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 3,075 点 入選 384 点
動物写真コンクール	7月 1日 ～11月29日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 675 点 入選 44 点
安佐南区子ども会連合会写生大会 (安佐南区子ども会連合会共催)	8月18日	安佐南区子ども会連合会による写生大会を共催により実施した。	参加 594 人 応募 345 点
動物たちと消防の写生大会 (安佐北区子ども会連合会・安佐北消防署共催)	3月11日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 280 点 入選 57 点

b 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
ダルマガエルの目覚め観察会	5月 7日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	50 人
モリアオガエルの産卵観察会	5月28日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	300 人
田んぼの生きもの観察会	7月16日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田でカエルや昆虫を観察した。	167 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	11月18日	自然に関する理解を深めるため、廿日市市宮島町で動・植物や昆虫を観察した。	19 人

c 動物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
まいにち動物解説	通 年	園内での動物解説を毎日時間を決めて数か所で実施した。動物の生態などを分かりやすく解説し、動物への理解を深めた。	36, 568 人
バックヤードガイド	通 年 (毎月最終土曜日を除く各土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	79回 1, 775 人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護増殖施設ガイドツアー)	通 年 (毎月最終土曜日)	毎月1回、オオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識のかん養を図った。	12回 211 人
クロサイのハナに 会いに行こう	通 年 (毎月最終土曜日)	毎月1回、世界最長寿のクロサイ「ハナ」の飼育施設を案内し、クロサイに関する知識の啓発を図った。	11回 199 人
動物の日イベント スタンプラリー	4月 16日 4月 26日 5月 3日 6月 11日 6月 18日 9月 16日 9月 23日 3月 3日	「飼育の日」、「世界バクの日」、「世界キリンの日」などの動物の日に関連して開催するイベントに参加し、スタンプを集めると記念品がもらえる「動物の日イベントスタンプラリー」を実施した。	936 人
動物公園春まつり	4月 1日 ～5月 7日 3月 11日 ～3月 31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 138, 281 人
動物観察エサやり体験デー	4月 1日 4月 2日 3月 24日 3月 25日 3月 31日	キリン、ヤギ、ヒツジへのえさやり体験を通じた動物とのふれあいの場を提供した。	キリン 150 人 ヤギ・ヒツジ 388 人
飼育の日イベント 「飼育係あるあるとおーっく」	4月 16日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係が動物の飼育に関する日頃の体験などを語るトークショーを開催した。	377 人
世界バクの日 イ ベ ン ト	4月 26日	4月27日の「世界バクの日」にちなみ、マレーバクの解説や啓発パネルの展示を行った。	68 人
ア ニ マ ル バルーンアート	4月 30日 5月 3日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、さまざまなかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	1, 241 人
ヒツジの毛刈り と糸つむぎ教室	5月 4日 5月 5日	ヒツジの毛刈りの様子を一般公開するとともに、毛糸ができるまでの過程を体験できるコーナーを設けた。	糸つむぎ体験 279 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
カエルのための 田んぼ作り (田植え体験)	5月13日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と田植えを行った。	19人
世界カワウソの日 特 別 解 説	5月31日	「世界カワウソの日」にちなんで飼育担当者による動物解説を行った。	23人
オウム・インコデー インコと記念撮影	6月11日	6月15日の「オウム・インコデー」にちなみ、希少動物であるインコについて解説し、記念撮影コーナーやインコ相談コーナーを設置した。	154人
世界キリンの日 イベント～キリン のことを知ろう～	6月18日	「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンの解説や啓発パネルの掲示などを行った。	129人
解 剖 教 室 ～ 獣 医 入 門 ～	6月25日	小学校4～6年生を対象に獣医師による動物の体の構造についての講義や、解凍したニワトリの解剖を行った。	26人
おめでとう長寿世界一！ クロサイのハナ	(特別公開) 7月 1日 7月 8日 7月15日 7月29日 (お祝いセレモニー) 7月15日	非公開としているクロサイの雌「ハナ」が51歳となり、長寿世界記録を更新したことを記念して、安佐動物公園に来園した7月の土曜日に特別公開し、お祝いセレモニーを行った。	355人
動 物 園 で 七 夕	7月 2日 ～7月 3日	レッサーパンダの糞を使用した動物公園特製の短冊に願いを書いて竹に取り付けた。	200人
動 物 へ 暑 中 お 見 舞 い	7月23日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをアヌビスヒヒやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	184人 かき氷プレゼント 50人
サマースクール	7月26日 7月28日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	34人 33人
夜 の 動 物 園 で 動 物 觀 察 (寄附者対象)	8月 5日	みどり生きものサポートー等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を解説する観察会を行った。	37人
神 樂 ス テ ー ジ	8月12日 8月19日 8月26日 9月 2日	広島で盛んな伝統芸能「神楽」で、動物の登場する演目をナイト・サファリにおいて上演した。	2,540人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物公園秋まつり	9月 1日 ~11月27日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 122,704人
開園記念日イベント	9月 1日 ~9月 3日	宮島水族館長などを招いてくす玉割りや缶バッジの配布を行った。	入園者数 19,095人
レッサーパンダの日 動物解説	9月16日	9月の第3土曜日が「国際レッサーパンダデー」であることにちなみ、安佐動物公園で飼育しているレッサーパンダの生態などについて飼育係が解説した。	44人
動物たちの長寿を祝う会	9月18日	敬老の日に、長寿の動物（クロサイ）に果物などを与え、入園者とともに祝った。	149人
世界サイの日 クロサイのことを知ろう	9月22日	「世界サイの日」にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について、クイズを交え、解説を行った。	21人
Zoo cafe (飼育係と動物トーク)	10月 1日 10月 8日 10月15日 10月22日	10月の毎週日曜日に飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	329人
ふりふりバター作り	10月 7日	生クリームとペットボトルを使って簡単にバターを作る方法を指導し試食するとともに、家畜と人との関わりについて解説した。	90人
ハロウィン動物園	10月28日	ハロウィンにちなんでフェイスペイントをした入園者を誘客した。	入園者数 240人
動物観察エサやり 体験デー	11月19日 11月26日	11月の毎週日曜日に、入園者がキリン、ヤギへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	100人
動物講演会	11月19日	「マルミミゾウとヨウムを絶滅の危機から救うことはできるのか～いま日本人にできること～」と題し、市民を対象にした講演会を開催した。	60人
はたらく動物に感謝の日	11月23日	勤労感謝の日に、安佐動物公園一の働き者、ボニーの4頭を表彰してニンジンをプレゼントし、記念撮影を行った。	306人
大人のための飼育体験教室	11月12日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義等を行った。	33人
動物公園冬まつり	12月 2日 ~2月25日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物に関する知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 49,768人
動物観察エサやり 体験デー	12月 3日 12月10日	12月の毎週日曜日に、入園者がキリン、ヤギへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	278人
干支の動物と記念撮影	12月 9日 ~1月14日	平成30年の干支「戌」の顔出し看板を園内に設置して記念撮影の場を提供した。	入園者数 21,934人
クリスマス動物キャンドル作り	12月 2日	クリスマスにちなみ、動物型のキャンドルを作るイベントを開催した。	94人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
動物園で年賀状づくり	12月 9日	平成30年の干支「戌」にちなみ、イヌ科の動物のスタンプ等で年賀状づくりを行った。	80人
元気に冬越し 冬至はかばちや	12月 22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒヒなどにかばちやを与えて、動物たちの健康を願った。	110人
クリスマス カーペ選手と サンちゃんが プレゼント	12月 24日	職員が扮したサンちゃんのサンタクロースが、動物にはエサ、入園者にはお菓子などをプレゼントした。また、広島東洋カープの天谷選手を招聘し抽選で入園者に賞品をプレゼントした。	670人
元旦 干支の 動物がお出迎え	1月 1日	新年を迎えるイベントとして、戌の着ぐるみと広島観光親善大使が来園者をお出迎えした。	120人
新春子どもも もちつき体験	1月 2日	新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験を行った。	80人
新春動物かるた で遊ぼうよ！	1月 3日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹介したオリジナル動物かるたを使ったかるた取りを開催した。	56人
オリジナル缶 バッジ作り	1月 7日	動物への関心を高め、動物公園での思い出が形として残るよう、オリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	250人
動物園で鏡開き	1月 14日	「新春子どももちつき体験」でついた餅の鏡開きを行った。	150人
落ち葉で やきいも作り	1月 21日	冬の風物「やきいも」作りを体験しながら、動物たちの冬の過ごし方について解説した。	50人
園内ガイドツアー 「Zooっとよれば」	1月 28日	動物の体の特徴的な一部分を入園者に観察してもらうガイドツアーを開催した。	16人
まんが動物園 &動物まんが クイズラリー	(漫画展示) 2月 2日 ～2月 25日 (クイズラリー) 2月 11日 2月 18日 2月 25日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	2,275人
動物愛称募集 及び命名式	2月 3日 ～2月 18日	シロクロウの愛称を入園者から募集するとともに、愛称の命名式を行った。 (命名式30年3月4日 愛称オリーブ)	応募数 618票
動物脱出対策 公開訓練	2月 4日	イノシシが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 973人
世界野生生物の日 イベント	3月 3日	「世界野生生物の日」に、その制定由来となる「ワシントン条約」と深く関係するアフリカゾウについて特別解説を実施した。	120人
親子動物教室	3月 17日	親子を対象に、小動物の観察や骨格標本の解説など、動物について学ぶ場を提供した。	7組 14人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やヤギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	115 件 3,195 人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の「総合的な学習の時間」において、動物公園の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1 件 6 人
進路総合学習の受入れ	通 年	学校等の総合学習において、動物公園の職場見学を希望する生徒を受け入れた。	4 件 378 人
自然体験活動の受入れ	通 年	動物の観察や動物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	26 件 2,049 人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
動物たちと消防の写生大会入賞作品展	4月 8日 ~4月16日	「動物たちと消防の写生大会」の入賞作品を展示した。
動物写真コンクール入賞作品展	4月23日 ~5月21日	「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
子ども写生大会入賞作品展	6月17日 ~7月 2日	中国新聞社と共に開催を行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示した。
企画展示 「やってみよう しいくのお仕事」	7月22日 ~10月22日	飼育係の仕事内容を様々な体験コーナーや映像を通して紹介した。
動物画コンクール入賞作品展	11月 5日 ~11月26日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。
干支展 「こっそりキツネと ちやつかりタヌキ」	12月 9日 ~1月14日	平成30年の干支「戌」にちなみ、安佐動物公園で飼育しているイヌ科の動物「キツネ」と「タヌキ」について紹介した。
「広島市立大学芸術学部日本画展」	1月27日 ~2月25日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景の作品展を開催した。
「ず～なんよ。動物園大学⑧in ひろしま安佐」ポスター展	3月10日 ~4月 1日	京都大学及び連携する動物園によるポスター展を開催した。

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 97 件 取材件数 262 件 《取材件数の内訳》 テレビ 119 件 ラジオ 52 件 新聞 81 件 その他 10 件
動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及	通 年	動物レクチャーや体験型環境学習プログラムを学校などに配布し、利用を呼びかけた。	204 か所
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物公園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	6 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	市内郵便局ネットワークを利用して、動物公園のPR用チラシを公共施設や観光事業所に配布した。	1,325 か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	16 か所 写真パネル 320 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	124 件
ツイッターによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	820 件
動物解説広場の実施	通 年	みなとフェスタなど地域イベント会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するレクチャーなどを行い、動物公園をPRした。	3 件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物公園のPRを行った。	9 件
保育園・幼稚園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	3 件
近隣団地へのPR	通 年	リピートが期待できるあさひが丘団地の連合自治会に巡回バス運行のお知らせやチラシを配布し、入園者の増加を図った。	1 件

名 称	時 期	内 容	件 数 等
有料の広告媒体による広報	通 年	イベントチラシの新聞折込、FMラジオなど有料の広告媒体を利用して集客を図った。	5 件
公共交通機関利用者へのPR	通 年	アストラムライン上安駅や県庁駅前に「夜間開園(ナイトサファリ)」のポスターを掲示し、集客を図った。	2 件

(ヶ) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「すづくり」「飼育記録集」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。	4回 計3,400部 220部

(コ) 動物に関する相談

名 称	時 期	件 数
動 物 相 談	通 年	飼育相談 17 件 野生動物の救護 8 件 引取依頼 93 件 有害鳥獣の駆除対策 33 件 その他一般相談 174 件 計 325 件

### ③ 植物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の收受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

#### ア 植物の栽培・展示など

##### (ア) 植物の栽培・展示

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[大温室] 熱帯果樹、熱帯花木、ランなど	2年に渡る改修工事が完了し、3月にリニューアルオープンした。直径約2mの国内最大のオーストラリアバオバブをシンボルツリーとして導入し、また、約650品種、5,000株を、水辺のコーナー、ジャングルコーナー、くだものと暮らしのコーナー、フラワーコーナーの4コーナーに分けて植栽し、説明板や模型を展示した。さらに、空中デッキを新設したことにより、熱帯果樹の花や実などを間近で観賞できるようにした。
[サボテン温室] サボテンなど	サボテン類や多肉植物約320品種500株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ることで、生き物に対する興味の高揚を図った。
[熱帯スイレン温室] 熱帯スイレンなど	1年を通じ多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、巨大な葉を持つオオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行ったほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設け、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
[ベゴニア温室] 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、680品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。
[フクシア温室] フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花を咲かせるフクシア約100品種160鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できるようにした。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[カスケード] インパチエンス、パンジーなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。また、巨大ハンギングバスケットを季節やイベントに合わせて草花やクラフトなどで飾った。
[展示温室] ゼラニウムなど	世界のラン、ゼラニウム、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなど植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテン、オモトなど、季節にふさわしい植物を年間19回展示した。
[芝生広場] サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、アンズなどの花木類を植栽・展示し、早春から春のベストシーズンにかけて見ごろとなるゾーンとした。
[花の進化園] スイレン科、ユリ科、キク科、ラン科など	種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示することにより、入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深める場とした。また、被子植物の新しい分類体系として最近主流になりつつあるAPG分類体系へ順次移行を図った。
[屋外展示場] クレマチス、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、サクラソウ、アジサイ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示了。
[ロックガーデン]と うらら池散歩道、 里山の野草園] エーデルワイス、ナミキソウ、 ヒゴタイ、ヤチシャジンなど	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿い及び里山の野草園には主に広島県内の林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示了。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介することで、植物の自生状態や自然保護への関心を促した。
[バラ園] バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。バラ園を拡充し、オールドローズの植栽を増やした。
[ツバキ園] ツバキなど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示了。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。
[日本庭園] ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、コケの見本園など和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気でくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、江戸期に育成された古花を中心に1,000株を展示するなど、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を行った。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[樹林観察園] シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
[こども花壇] パンジーなど	春にパンジー、夏にキバナコスモス、秋にコスモスの迷路を作り、子どもが楽しめる場を提供した。
[展示資料館壁面・ 通路スペースなど] アサガオの巨大カーテン、 巨大ダリアなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

【植物の栽培展示数】

(平成30年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	650 品種	5,000 本
サボテン 温室	320 品種	500 本
熱帯スイレン 温室	150 品種	600 本
ベゴニア 温室	680 品種	2,000 本
フクシア 温室	260 品種	300 本
栽培 温室	3,900 品種	32,500 本
バラ園	700 品種	1,000 本
ツバキ園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,140 品種	154,500 本
合 計	10,000 品種	197,000 本

(イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物 の維持、充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け：19か国 39か所 178種 譲渡し：18か国 47か所 104種

名 称	内 容
種 苗 の 導 入	ゴールデンチェーンツリー、アリ植物、ドリアンテスなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植 物 の 栽 培 管 理	生育状態を良好に保ち、病害虫被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の收受 (利用料金制)

【入園状況】

有 料 入 園 者	区 分			入園者数	使 用 料	
	個 人	大 人	小 人			
年間パスポート	個 人	大 人	18歳以上 65歳未満	510円	49,178人	
			65歳以上	170円	19,434人	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	590人	
	購 入	大 人	18歳以上 65歳未満	1,540円	2,655人	
			65歳以上	510円	1,808人	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	24人	
	提 示	大 人	18歳以上 65歳未満	—	13,554人	
			65歳以上	—	8,159人	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	13人	
団 体	大 人	18歳以上 65歳未満	430円	1,308人	562,440円	
		65歳以上	130円	505人	65,650円	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	29人	
	優 待 割 引	大 人	18歳以上 65歳未満	430円	35人	
			65歳以上	130円	4人	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	
小 計				97,296人	34,155,310円	
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)				86,570人	0円	
合 計				183,866人	34,155,310円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 4,487 枚
電動カートの運行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。	12,946 人
さくらまつり	4月 1日 ～4月30日 (土・日・祝日)	桜の見頃時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	17,195 人
夜 間 開 園	4月 1日 4月 2日 4月 8日 4月 9日 9月 9日 9月10日 9月16日 9月17日 9月23日 9月24日 11月25日 11月26日 12月 2日 12月 3日 12月 9日 12月10日 12月16日 12月17日 12月23日 12月24日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 371 人 248 人 789 人 1,449 人 3,610 人 1,710 人 353 人 0 人 3,658 人 1,832 人 2,610 人 1,235 人 2,776 人 1,804 人 2,926 人 283 人 2,215 人 1,722 人 3,663 人 464 人 合計 33,718 人
休 園 日 の 開 園	4月14日 5月 2日 8月10日 10月13日 11月 2日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウイーク及び秋のグリーンフェア期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	314 人 1,146 人 417 人 121 人 349 人 合計 2,347 人
みどりの日・植物園の日 記 念 行 事	5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	5,121 人

名 称	時 期	内 容	入園者数
区民ウォーキング大会 in 植物公園 (佐伯区役所共同事業)	5月27日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	324人
サマーフェア	7月15日 ~8月31日	夏休み期間中を中心に、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	29,101人
秋のグリーンフェア会場としての利用	10月 7日 ~10月15日	秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	9,681人
開園記念日記念行事	11月 3日	開園41周年を記念し、ベゴニアの花苗プレゼントやコンサート、丸太切り体験など様々なイベントを実施した。	2,236人
バレンタインフェスティバル	2月10日 ~2月12日	コンサートやチョコ作り体験会、99本のバラの花束を持った記念撮影コーナーなど様々なイベントを実施した。	641人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる情報提供	通 年	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。
樹木ラベルの充実	通 年	樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。
大型模型の設置	通 年	広島市が寄贈を受けた、ハエトリグサ、ウツボカヅラなどの大型模型を温室内や温室前に設置し、来園者に見て触れて楽しめる撮影スポットを提供した。

(カ) 施設の維持補修など

名 称	時 期	内 容
施設の維持補修など	6~10月	大温室のリニューアルオープンに備え、沖縄からベンガルボダイジュ等97種類、長崎からトックリキワタ等10種類の植物を新規導入した。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
都市における自然環境保全活動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会への参加により、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件
希少植物の保護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	1 件

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	5 件

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	種 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	日本産 約120種 ワシントン条約 75種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランなどの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	66種 約400系統 検討会 2件

(エ) 植物に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
新品種の保護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。
各種資料の収集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植物標本の活用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	2月 8日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「日本最大となるオーストラリアバオバブの大温室導入」と題して発表した。 (参加者 48人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、隨時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	4 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)などを行った。	5 件 8人
森の幼稚園を活用した保育者指導	5月28日 10月 8日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	40 人 14 人

(イ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物解説 ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数：59人)	活動延べ人数 1,205人
植物管理 ボランティア	通 年	園内で植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (管理ボランティア登録人数：20人)	活動延べ人数 361人
地域団体など と の 協 働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。また、(公社)日本植物園協会植物研究会の開催や展示協力などを行った。	28件  《内訳》 造幣局桜樹育成指導 1件 造幣局今年の花選定 1件 佐伯区百人委員会花部会 12件 さえきフラワープロジェクト 8件 広島県ラン展 4件 広島平和文化センター重慶の日記念行事 1件 青崎小学校樹木診断 と管理指導 1件
グリーン・レガシー・ ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。また、被爆樹木のラベル取付作業に協力した。	16件
花と緑の広島 づくりの推進	通 年	緑化推進部・区役所・地域団体と連携して、地域の花壇作り等の活動を行うグループへの講習会を実施した。本年度は市からの開催依頼がなかった。	0件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
おし花美術作品展	4月 8日 ～5月 6日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。
エビネ展	4月22日 ～4月27日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春の山野草展	4月22日 ～4月27日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
クレマチス展	4月29日 ～5月 7日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示した。

名 称	時 期	内 容
セッコク・長生蘭展	5月 6日 ～5月11日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入などの特徴を持ち長生蘭と呼ばれる品種を展示した。
趣味のボタニカルアート展	5月 9日 ～6月 8日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
遅咲きクレマチス展	5月27日 ～5月30日	小型で可愛らしいヴィチセラ系や遅咲き大輪系を中心にクレマチスの仲間を展示した。
初夏の小品盆栽展	6月10日 ～6月15日	フウチソウやツツジなど、初夏に見頃の植物を小鉢仕立てで展示した。
ウチョウラン展	6月10日 ～6月15日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢作りで展示した。
冬虫夏草展	6月17日 ～8月17日	昆虫やクモ、ダニ等に寄生して寄主を殺して子実体を形成する特殊な生活環境をもつ冬虫夏草を展示した。
ボタニカルアート作品展	8月19日 ～9月14日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
植物友の会作品展	9月16日 ～9月24日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品、クラフトなどを展示した。
秋の山野草展	9月23日 ～9月28日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
生きのこ展	9月30日 ～10月 1日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
サボテン展	9月30日 ～10月15日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	10月28日 ～11月 5日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	10月28日 ～11月 5日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
寒 蘭 展	11月11日 ～11月16日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
私の好きな花たちの写真展	12月 2日 ～12月25日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
新春小品盆栽展	1月 4日 ～1月 8日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
盆 栽 展	1月13日 ～1月18日	直幹、模様木、文人作りなど様々な樹形が楽しめる盆栽を展示した。
植物写真コンテスト作品展	1月20日 ～2月 8日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。

名 称	時 期	内 容
植物日本画展	2月10日 ～3月 1日	四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示し、作品などについて解説した。
おもと(万年青) 名 品 展	2月14日 ～2月19日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
クリスマスローズ展	2月24日 ～3月 4日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。
フラワーデザイン展	3月 3日 ～3月 8日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。
「草木染の世界」展	3月10日 ～3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

#### (ウ) 植物友の会の活動

##### 会員内訳

(個人会員：107人、家族会員：15家族38人、賛助会員：8社)

名 称	時 期	内 容	参加者数等
例 会	5月21日	園内植物観察	38人
	7月 9日	「春の野外観察会～神庭の滝～報告」、 夏の園芸作業、園内植物観察	33人
	9月24日	秋の園芸作業、園内植物観察	26人
	11月12日	冬の園芸作業、園内植物観察	27人
	1月14日	「宮島植物探訪会友の会オリジナルコース」、 園内植物観察	40人
	3月11日	総会、春の園芸作業、園内植物観察	44人
会 誌 の 発 行	年4回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	夏号 300冊 秋号 300冊 冬号 300冊 春号 300冊
野 外 観 察 会	5月28日	宮島の自生植物などの観察を行った。 場所：広島県廿日市市宮島町 講師：坪田 博美 氏	27人
	2月 4日	岩国城周辺の自生植物の観察を行った。 場所：山口県岩国市岩国城山 講師：植物公園職員	19人
講 習 会	8月22日	アナベルのドライフラワーボール作りを行った。	12人
	12月 3日	竹製コンテナの寄せ植えを行った。	12人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月25日	ミニバラを使ったモダンな寄せ植え	9人
	11月18日	ハンギングバスケット作り	4人
植物学入門講座	6月 7日	植物の進化を考える（1）	26人
	6月14日	植物の進化を考える（2）	27人
	6月21日	植物の進化を考える（3）	23人
暮らしに役立つ ハーブ講座	7月 8日	ハーブの食卓	11人
	7月15日	簡単ハーブ染を体験しよう	11人
	7月22日	ハーブのクラフト作りを楽しもう	11人
植物バイオテクノロジー入門講座	7月25日	バイオテクノロジーの基本DNAの抽出実験	8人
	8月 1日	遺伝子組み換え植物について検出実験	7人
	8月 8日	身近なバイオテクノロジー技術	7人

b 講習会・実演会

名 称	時 期	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	4月15日	初心者向けにサクラの写真の撮り方について指導した。	23人
緑のカーテン講習会	4月22日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカーテン作りについて指導した。	4人
春の山野草実演会	4月23日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	25人
エビネ実演会	4月23日	エビネの育て方について実演指導した。	33人
クレマチス実演会	5月 3日	クレマチスの育て方について実演指導した。	50人
セッコク実演会	5月 7日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	18人

名 称	時 期	内 容	参加者数
ボタニカルアート 色 付 け 講 習 会	5月21日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けについて指導した。	23人
バラ 講 習 会 (バラ講演会)	5月14日	「バラの軌跡をたどる—栽培バラの歴史とそのルーツ、遺伝、資源までー」と題して、上田善弘氏による講演を行った。	35人
ハーブ 実 演 会	5月21日	ハーブの寄せ植えや使用法を指導した。	26人
ハナショウブ実演会	6月11日	ハナショウブの育て方について実演指導した。	24人
アジサイ実演会	6月 4日 6月10日	アジサイの育て方について実演指導した。	45人 65人
小品盆栽実演会	6月11日 1月 7日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	9人 25人
食虫植物実演会	7月23日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	44人
ボタニカルアート 講 習 会	8月27日	ボタニカルアート(植物細密画)の描き方について指導した。	3人
秋の山野草実演会	9月24日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	24人
寒 蘭 実 演 会	11月12日	寒蘭の育て方について実演指導した。	3人
クリスマスリース 作 り 講 習 会	11月26日	クリスマスリースの作り方について指導した。	3人
植物写真撮影講習会	12月 3日	植物の写真の撮り方について指導した。	18人
カカオニブ磨碎 実 演 会	2月11日	専用石うすによるチョコの製造を実演指導した。	105人
トリュフチョコ 実 演 会	2月12日	トリュフチョコの製造を実演指導した。	40人
椎茸栽培講習会	2月12日	椎茸の植菌とその後の管理方法について指導した。	34人
おもと(万年青) 実 演 会	2月17日	万年青の栽培管理について実演指導した。	6人

名 称	時 期	内 容	参加者数
N H K 趣味の園芸 i n 植物公園	2月 24日	NHK「趣味の園芸」と協力してフクシアの育て方について実演指導した。	100人
クリスマスローズ 実 演 会	2月 24日 2月 25日 3月 3日 3月 4日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	39人 26人 40人 42人
フラワーデザイン 実 演 会	3月 4日	暮らしの中のフラワーデザインについて実演指導した。	48人
草木染講習会	3月 18日	草木染の方法について指導した。	45人

### c 講演会・展示解説

名 称	時 期	内 容	参加者数
冬虫夏草 講 演 会	6月 25日	冬虫夏草に詳しい大学教授を講師に迎えて、冬虫夏草類の講演を行った。	73人
変化朝顔展解説	9月 3日	変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。	9人
サボテン展解説	10月 1日	サボテン展の展示とサボテンの育て方について解説した。	140人
毒と薬は紙一重 講 演 会	10月 28日	神田博史氏を講師に迎えて、「笑顔に勝る良薬なし—健康食品の光と影ー」と題して講演を行った。	73人
ガーデニング コンテスト 受賞作品解説	10月 29日	ガーデニングコンテストの受賞作品と審査のポイントの解説を行った。	17人
カカオニブ 講 演 会	2月 10日	「チョコのサイエンスロマン」と題して講演を行った。	20人
早春の洋ラン展解説	2月 25日	早春の洋ラン展の展示とパフィオペディルム自生地の環境などについて解説した。	7人
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	3月 18日	「草木染の世界」展の作品などについて解説した。	25人

d コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
ラン審査会	4月30日 10月22日 2月25日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	25人 134点 25人 108点 29人 150点
植物写真コンテスト	9月 1日 ~11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 351点 入選 67点
ガーデニングコンテスト	9月 2日 ~10月 7日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、優秀作品を表彰した。	応募 59点 入選 25点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	4月11日 4月22日	サクラやアカボシシャクナゲなどの観察を行った。	20人 20人
	5月 9日 5月27日	バラやウツギなどの観察を行った。	15人 30人
	6月13日 6月24日	ヤマアジサイやハナショウブなどの観察を行った。	34人 29人
	7月11日 7月22日	マツムシソウやノリウツギなどの観察を行った。	22人 31人
	8月 8日 8月26日	ヤマモガシやカリガネソウなどの観察を行った。	13人 9人
	9月12日 9月23日	オオモクゲンジやヒガンバナなどの観察を行った。	13人 29人
	10月10日 10月28日	ホトトギスや冬桜などの観察を行った。	31人 14人
	11月14日 11月25日	コダチダリアやベニマンサクなどの観察を行った。	27人 25人
	12月12日	ヤツデやヒイラギナンテンなどの観察を行った。	15人
	1月 9日 1月27日	ソシンロウバイやクリスマスローズなどの観察を行った。	15人 24人
	2月13日 2月24日	マンサクやセツブンソウなどの観察を行った。	13人 34人
	3月13日 3月24日	梅やカタクリなどの観察を行った。	30人 54人

名 称	時 期	内 容	参加者数
うらら池の自然散策	4月29日 7月15日 8月 5日 11月11日	うらら池やロックガーデンの野生植物を散策しながら観察した。	16人 9人 9人 10人
冬 虫 夏 草 園 内 観 察 会	6月25日 7月 9日	園内で発生している冬虫夏草類の観察を行った。	52人 38人
き の こ 観 察 会	10月 1日	園内に自生するキノコを散策しながら観察した。	44人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	11月18日	自然に関する理解を深めるため、廿日市市宮島で動・植物や昆虫を観察した。	19人
野 鳥 観 察 会	1月 8日	園内に飛来する野鳥を観察した。	8人

#### f 植物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	4月 9日 5月14日 6月11日 7月 9日 8月13日 9月10日 10月 8日 11月12日 12月10日 1月14日 2月11日 3月11日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	37人 36人 24人 49人 56人 36人 46人 40人 45人 20人 38人 67人 合計 494人
オリエンテーリング	5月 4日 7月16日 ~8月31日 11月 3日 3月17日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日、クイーンエリザベス号寄港日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	591人 3,212人 800人 650人
森 の 幼 稚 園	5月28日 10月 8日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	19組 40人 10組 14人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ハナショウブ＆アジサイまつり	6月 3日 ～6月25日 (土・日のみ開催)	ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせ、栽培講習会、お茶会、花の解説などを行った。	5,468人
親子植物体験教室	7月26日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。	17組 18人
オオオニバス試乗体験会	8月16日 8月19日 8月20日 8月22日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。 (22日は申込制)	440人 464人 449人 320人 合計 1,673人

(オ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保护などについて指導した。	23件 1,489人
職場体験などの受入れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校のインターンシップを受け入れ、指導した。	8件 30人

(カ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
サクラソウ展	4月15日 ～4月20日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	4月29日 ～5月 4日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ハーブ展	5月13日 ～5月25日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ローズフェスティバル	5月13日 ～5月28日	春バラの展示を中心に、バラに関する講習会やガイドツアー、バラの苗木の販売などを行った。
セントポーリアとイワタバコの仲間展	5月27日 ～6月 8日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示了。
アジサイ展	6月 3日 ～6月25日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示した。

名 称	時 期	内 容
冬虫夏草展	6月17日 ~8月17日	冬虫夏草類について、実物標本とパネルで紹介した。
夏のカラフル リーフ展	6月21日 ~7月17日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
ノリウツギと 夏の植物展	7月15日 ~8月30日	ノリウツギや遅咲きのアジサイを展示し、夏に見頃となる植物を展示了。
世界の食虫植物展	7月22日 ~8月20日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示了。
変化朝顔展	8月26日 ~9月 3日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示了。
薬用植物展	9月 9日 ~9月28日	ウコンやキキョウなどの薬用植物を展示了。
特別企画展 「毒と薬は紙一重」	9月30日 ~11月30日	毒や薬になる植物について、パネルや実物で紹介した。
秋の洋ラン展	10月28日 ~11月 5日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示了。
キク展	10月28日 ~11月12日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と日本の園芸菊などを展示了。
クリスマスを 飾るフラワー展	11月18日 ~12月25日	シクラメンやポインセチア、カラソコエなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示了。
カラソコエと 冬の鉢花展	1月13日 ~2月12日	カラソコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
早春の洋ラン展	2月24日 ~3月 4日	早春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ゼラニウム展	3月10日 ~3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示了。

(キ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 54 件 ラジオ 13 件 新聞 31 件 情報誌等 228 件 計 326 件
催し物案内ポスター・ PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 638 か所 チラシ 1,959 か所

名 称	時 期	内 容	件 数 等
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	3か所 75点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 131,846件
メールマガジンの配信	通 年	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録718人 ミニまぐ登録56人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場などに設置されたディスプレイを利用してイベントのPRを行った。	7回
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスに広告を行い、植物公園のPRを行った。	1か所
マツダスタジアムにおけるPR活動	5月24日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、食虫植物の解説などを行い、植物公園のPRを行った。	1回

(ク) 出版物の発行

名 称	時 期	内 容	発行部数
「栽培記録」「年報」	通 年	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物公園事業の周知を図った。	300部 70部

(ケ) 植物に関する相談

名 称	時 期	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,743件

#### ④ 昆虫館の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや観察会その他催し物の開催など各種事業を実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

##### ア 昆虫の飼育・展示など

###### (ア) 昆虫の飼育・展示

[展示場所] 主な展示昆虫	内 容	
「パピヨンドーム」	チヨウ類	亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目撃に観察できる展示を行った。
	イトトンボ類	クロイトトンボなどのイトトンボ類約100頭を放し、展示を行った。
	ホウジャク類 ハナアブ類	オオスカシバなどのホウジャク類約20頭、ヒラタアブなどのハナアブ類約400頭を放し展示を行った。
外国産昆虫		ヘラクレスオオカブトムシ、ハナビラカマキリ、オオコノハムシなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。
「昆虫ランド」	陸生昆虫 夜行性昆虫	オオクワガタ、ツシマカブリモドキ、タイワンクツワムシ、オオゴキブリなど夜に活動する昆虫を、照明を昼夜反転させて展示した。入館者がスイッチを押すことでスポット照明が点灯して、野外で懐中電灯を照らしながら昆虫を観察する状況を再現した。鳴く虫については、小型マイクとスピーカーを使い、鳴く姿と鳴き声を同時に観察できるよう展示した。
	昼行性昆虫	クロカタゾウムシ、ナナホシキンカメムシ、イリオモテモリバッタなど昼に活動する昆虫を展示した。
	季節の昆虫	ハンミョウ、オンブバッタ、ヒナカマキリなど広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示した。
水生昆虫		ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境に住むその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類、プラナリア類）とともに展示した。ゲンゴロウ類については1日2回の餌やりショーも実施した。
職員おすすめ! 旬の昆虫		オオツノトンボ、ウラギンシジミの幼虫など、飼育技術が確立していない、あるいは出現期が短く、長期の飼育には向かない昆虫を展示了。
昆虫以外の 陸生節足動物		昆虫との違いを観察することにより、昆虫に関する理解や知識を深めるため、一般的に昆虫と間違えやすいオオゲジ、サソリ、タランチュラ、オオヤスデなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示了。
なつかしい 身近な生き物		アメリカザリガニ、スジエビ、アカハライモリなど40代以上の人々が子どもの頃、遊びの中で出会っていた昆虫以外の小動物を展示了。

## 【昆虫の飼育展示数】

(平成30年3月31日現在)

区分	種類	頭数
チョウ類など(パピヨンドーム)	13種	1,069頭
外 国 产 昆 虫	63種	262頭
夜 行 性 昆 虫	42種	569頭
昼 行 性 昆 虫	34種	545頭
季 節 の 昆 虫	7種	23頭
水 生 昆 虫	9種	45頭
旬 の 昆 虫	3種	8頭
昆虫以外の陸生節足動物	11種	119頭
なつかしい身近な生き物	4種	31頭
合 計	186種	2,671頭

## (イ) 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島でチョウ類やバッタ、ゲンゴロウ類、カメムシ類などの昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：タガメなど11種 譲渡し：ハナカマキリなど3種
チョウその他の昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類20種、その他の昆虫約160種を累代飼育した。
新しい展示分野開拓のための採集	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島などで、ウラナミシロチョウ、ベニモンアゲハなどのチョウ類、リュウキュウベニイトトンボなどの水生昆虫、ヨツメオサゾウムシ等の甲虫類、ミヤコキンカメムシ、アカギカメムシなどのカメムシ類、ナナフシ類などを採集した。
外 国 产 昆 虫 等 の 導 入 と 飼 育	ダブルシールドマンティス(カマキリ)等の外国産昆虫及び昆虫以外の大型多足類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」におけるカブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園に設置した簡易繁殖場で、カブトムシの幼虫の餌にする腐葉土を落ち葉で作るとともに、市民から譲り受けたカブトムシの幼虫約250頭を入れて、繁殖飼育を行った。
飼育昆虫の成育管理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

区分				入館者数	使用料		
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	19,316人	9,851,160円	
			65歳以上	170円	1,931人	328,270円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	129人	21,930円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,540円	1,244人	1,915,760円	
			65歳以上	510円	75人	38,250円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	2人	1,020円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	-	6,317人	-円	
			65歳以上	-	368人	-円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	-	0人	-円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	890人	382,700円	
			65歳以上	130円	36人	4,680円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	247人	32,110円	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	22人	9,460円	
			65歳以上	130円	2人	260円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	0人	0円	
小計				30,579人	12,585,600円		
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				53,916人	0円		
合計				84,495人	12,585,600円		

(イ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	販売枚数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	1,321 枚
休館日の開館	5月 6日 7月 26日 8月 2日 8月 9日 8月 16日 8月 23日 8月 30日 10月 4日 10月 11日 10月 18日 10月 25日	ゴールデンウィーク、夏休み及び10月の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上及び入館者の増加を図った。	320 人 168 人 203 人 223 人 766 人 257 人 123 人 58 人 41 人 264 人 189 人 合計 2,612 人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観察環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で供用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入館者が快適に利用できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
展示解説の充実	通 年	写真パネルや地図パネルを追加して、分かりやすい解説とするように努めた。また、生体昆虫展示については、英語表記を添えるとともに、幼児向けにひらがな表記の「おこさまらべる」を取り付けている。また展示ラベルの昆虫写真はより特徴が分りやすいものへと順次更新した。
大型模型の設置	通 年	広島市が寄贈を受けた、ギラファノコギリクリガタ、ヘラクレスオオカブトなどの大型模型をエントランス前に設置し、来園者に見て触れて楽しめる撮影スポットを提供した。

名 称	時 期	内 容
入館者への涼感サービスの提供	8~9月	夏期の暑さ対策として8月から9月にかけて、昆虫館玄関前広場とパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。
全国昆虫施設連絡協議会の開催	11月	当館が幹事を務めて、11月15日~16日に全国昆虫施設連絡協議会を広島県立体育館小会議場及び昆虫館で開催した。全国の昆虫展示施設17施設34人が集い、昆虫の飼育・展示方法や施設の管理運営方法などの情報交換を行った。

#### イ 生物多様性の保全

##### (ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
保護活動に関する情報交換	通 年	広島県生物多様性の保存希少生物分科会・普及啓発分科会、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒヨウモンモドキ保全地域協議会に参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒヨウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動を行った。	9件 《内訳》 ミヤジマトンボ 4件 ヒヨウモンモドキ 4件 その他 1件

##### (イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域における住民との協働により、ギフチョウやハイケボタル、アキアカネの生息域の保全活動を行うとともに、地域の活性化を図った。	4件 《内訳》 安佐北区玖谷 2件 南区似島 1件 東広島市志和 1件

##### (ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	実 施 月 等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	8~11月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫の保全に取り組んだ。	調査・採卵 8月 孵化・人工飼育 8月~11月 放流 11月 (放流頭数 809頭)

(エ) 昆虫に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで採集と昆虫相の調査を行い、ゲンゴロウ等の水生甲虫、草原性のチョウ類などの希少昆虫のほか、東広島市の池を定点観測地としたアカトンボ類の種組成及び頭数の変化を数年にわたりて調査した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	2月 8日	昆虫館の研究成果を市民に発表する場を設け、昆虫館のパピヨンドームで生体展示を行っているチョウ類について、生態や生活史、種の選定や飼育の方法、食草の管理等について発表した。 (参加者 48人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
講習会・観察会 への講師の派遣	通 年	公民館、児童館、市立図書館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	14 件 1, 640 人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換を行った。	2 件 59 人
子ども読書まつり 「だいすき！いきもの」 への協力	4~5 月	図書館・動物公園・昆虫館を巡るスタンプラリーを開催し、全施設を巡った参加者に缶バッジなどの景品を配布した。(4月 22 日~5月 14 日) 昆虫館がくしゅう室で、こども図書館職員による本の読み聞かせを行った。(4月 29 日) 移動図書館「ともはと号」に来園してもらい、昆虫館玄関前広場で本の閲覧会を行った。(4月 29 日)	3, 319 人 71 人 400 人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、幼稚園・保育園に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	396 件 11, 380 人
総合的な学習時間の支援	通 年	小学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	5 件 229 人

名 称	時 期	内 容	件 数 等
教材生物バザールへの参 加	5月18日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として昆虫に関する試料を提供了。	151人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
昆 虫 館 ボ ラン テ ィ ア	通 年	昆虫館ボランティアを育成して、館内でのイベントや自然観察会の補助、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。 ボランティア総数：45人	活動回数 8回 活動延べ人数 84人
広 島 市 森 林 公 園 指 定 管 理 者	春 の 虫 祭 「こんちゅう 館で遊ぼう d a y」	4月 2日	森林公園全体を活用してクイズラリーを行うとともに、昆虫館内各所の屋台を模したブースで缶バッジ作りやチョウのおもちゃ作りなどの工作教室や昆虫とのふれあい体験を開催した。
	秋 の 虫 祭 「虫の運動会」	10月 8日 10月 9日	森林公園の運動会イベントにあわせて、昆虫館内で、クリップで作ったバッタのおもちゃのジャンプ競技、カブトムシの相撲やチョウの幼虫の徒競走などを開催した。
	ハロウイン 蟲 の 館	10月28日 10月29日	ハロウインに合わせて館内を暗くして、発光する昆虫やタランチュラなどの大型節足動物を展示し、これを見たり触れあいながら、様々なクイズやゲームに参加して館内を巡るイベントを開催した。
	木の実・落ち葉 で 遊 ぼ う	11月19日 11月23日	秋の木の実や落ち葉を使って、人形、立体パズル、しおりや貼り絵などの工作教室を実施した。 (講師：広島県ネイチャーゲーム協会会員)
	森 の 七 福 神 め ぐ り	1月 7日 1月 8日 1月13日 1月14日	森林公園内を巡るスタンプラリーを行い、昆虫館内では七福神に関連した名前のついた昆虫や植物を置いたポイントを設置し、それを巡るクイズラリーを開催した。また新年を占う「虫みくじ」や「虫絵馬づくり」を開催した。
	バレンタイン イ ベ ン ト	2月11日 2月12日	森林公園内の各所で、職員がカップルの記念写真を撮影するサービスを行った。昆虫館では、パピヨンドーム内でチョウの集まった花束を持って撮影し、オリジナル写真額に入れてプレゼントした。

(エ) 昆虫館友の会の活動  
会員数 (18組 69人)

名 称	時 期	内 容	参加者数等
講 野 外 観 察 会	5月 14日	チョウの幼虫と成虫の体のしくみや生活の様子について、昆虫館で飼育している生きた幼虫や成虫を観察しながら解説した。またチョウのおもちゃを作り、パピヨンドームで生きたチョウを引き寄せる実験を行った。 場所: 昆虫館がくしゅう室・パピヨンドーム	25人
	6月 4日	昆虫館の周辺で初夏の昆虫の観察を行った。 場所: 昆虫好物樹木園、圃場、トンボの池、昆虫館がくしゅう室	30人
	7月 8日	夏の草原の昆虫、小川の昆虫、里山の昆虫の観察を行った。 場所: 広島市安佐北区広島市民の里@安佐	23人
	10月 1日	生きたカマキリ類を観察しながら、カマキリの形態や生態、生活史などを解説した。その後、昆虫館の周囲でカマキリの成虫や卵鞘探しを行った。 場所: 昆虫好物樹木園、圃場、昆虫館がくしゅう室	29人
	11月 12日	森林公園内で様々なドングリの実を探し、名前しらべを行った。またドングリと昆虫の関係について解説した。 場所: 森林公園、昆虫館がくしゅう室	14人
	12月 10日	昆虫館で生体展示後、寿命が尽きて死んだ外国産カブトムシ・クワガタムシを使って、標本の作製教室を開催した。 場所: 昆虫館がくしゅう室	24人
	3月 4日	カブトムシ幼虫の飼いかたを講習し、幼虫を預けて成虫にしてもらう。 場所: 昆虫館がくしゅう室	29人
こんちゅう館 News の配布	年 4 回	昆虫館で発行した「こんちゅう館ニュース」を会員に配布した。	72冊

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむし写真コンテスト	応募期間 5/1~9/30 作品展示 1/13~2/25 表彰式 1/27	昆虫をテーマとした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 134人 応募点数 484点 入賞点数 34点

b 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
家族みんなで虫みつけ (幼児・児童と家族対象)	5月21日	ジャコウアゲハ、ゴマダラチョウ、コクワガタなど初夏の昆虫を観察し、名前調べを行った。	65人
	6月18日	ヒゲジロハサミムシ、カドマルエンマコガネ、クスサンの幼虫など初夏の昆虫の観察と名前調べを行った。	52人
	7月 9日	コクワガタ、スジクワガタ、ゴマダラカミキリなど夏の昆虫を観察しながら、解説及びふれあい体験を行った。	21人
きせつの虫みつけ (小学生～大人対象)	5月21日	コアオハナムグリ、オオセンチコガネ。シオカラトンボなど初夏の昆虫の観察と名前調べを行った。	12人
	6月11日	コクワガタ、ニワハンミョウなど初夏の昆虫を観察し、名前調べを行った。	25人
	7月 2日	ナミアゲハ、ゴマダラカミキリ、トノサマガエルなど夏の昆虫や小動物を観察し、名前調べを行った。	10人
	9月24日	ハラビロカマキリ、ツヅレサセコオロギ、アオマツムシなど秋の昆虫を観察し、名前調べを行った。	7人
昆虫ナイトウォーク	7月29日	夜に活動する昆虫、樹液に集まる昆虫や灯りに集まる昆虫の観察を行った。	99人
	8月 7日		107人
			合計 206人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	11月18日	自然に関する理解を深めるため、廿日市市宮島で動・植物や昆虫を観察した。	19人
どんぐり探検隊	11月19日	昆虫館周辺及び昆虫好物樹木園でアラカシ、シラカシ、コナラ、クヌギ、ミズナラなど様々な種類の樹木とそのドングリの観察と収集を行うとともに、昆虫の食痕等を観察し、昆虫との関係を解説した。	31人

c 昆虫教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
む し む し 折り紙教室	4月 8日 4月 9日 4月15日 4月16日	幼児や児童と、その保護者及び一般を対象に、折り紙でいろいろな昆虫を作る教室を開催した。	49人 417人 154人 406人 合計 1,026人
む し む し ぬ り め	4月 8日 4月 9日 4月15日 4月16日	幼児や児童と、その保護者及び一般を対象に、昆虫をテーマとしたぬりえを自由に塗つてもらい、「昆虫の森」という壁画エリアに自由に貼り付けてもらう教室を開催した。	85人 750人 215人 729人 合計 1,779人
土曜のムシの日	5月20日	生きた卵、幼虫、サナギの観察及び双眼実体顕微鏡を用いたチョウの鱗粉の観察や翅の濡れない仕組みについての実験を行った。	35人
	6月24日	生きた外国産カブト・クワガタ、カマキリなどを見せながら、外国産の昆虫の日本での現状や飼い方のモラルなどの話題をわかりやすく解説した。	25人
	9月16日	「秋の鳴く虫」展会場において、展示されている昆虫の生態や、鳴くときの様子などをわかりやすく解説した。	10人
	10月 1日	カマキリの生態や生活史を解説し、野外でいろいろなカマキリの成虫と卵鞘を観察した。	29人
	11月18日	昆虫の冬越しの様子を昆虫館周辺の樹木園や圃場で観察した。	16人
	12月10日	外国産カブトムシやクワガタムシの標本作り教室を開催した。	24人
む し の 日 「む し む し クイズラリー」	6月 4日	6月4日を「むしの日」として、無料開放し、館内の生体展示を見ながら昆虫について学習していくクイズラリーを実施した。参加者にはくじ引きで、トンボの形をしたアクセサリーなどの景品を配布した。	入館者 907人 ラリー参加者 258人
夏 休 み 子 ど も 昆 虫 相 談	7月21日 ~8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて、助言、指導を行った。	17件

名 称	時 期	内 容	参加者数
む し む し サマースクール	7月23日 7月30日 8月20日 8月27日	小学生を対象に、昆虫の飼育や夏休みのイベント実施など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	8人 7人 8人 8人 合計 31人
虫 タ ツ チ !	11月23日 11月25日 11月26日 1月13日 1月14日 1月20日 1月21日 2月 3日 2月 4日 2月10日 2月17日 2月18日 2月24日 2月25日 3月 3日 3月11日 3月17日 3月18日 3月19日 3月24日 3月25日 3月31日	幼児や児童とその保護者を対象に、いろいろな昆虫に触れ合える、年齢に合わせた体験イベントを実施した。	360人 182人 250人 52人 60人 33人 112人 55人 30人 60人 200人 72人 90人 77人 328人 141人 193人 22人 150人 283人 342人 合計 3,155人
クリスマス 蜜ろうそく作り	12月 2日 12月 3日 12月17日 12月23日 12月24日	ミツバチの分泌する蜜蝋を使ってクリスマスキャンドル作りを体験する工作教室を開催した。	9人 17人 40人 34人 16人 合計 116人

名 称	時 期	内 容	参加者数
ま ゆ 玉 遊 び (まゆ玉細工工作)	1月 6日 1月 7日 1月 8日 1月13日 1月14日 1月20日 1月21日 1月27日 1月28日 2月 3日 2月 4日 2月10日 2月11日 2月12日 2月17日 2月18日 2月24日 2月25日	まゆ玉を使った自由度の高い工作教室を開催した。	120人 148人 32人 25人 50人 68人 90人 3人 11人 30人 26人 8人 32人 68人 26人 92人 62人 73人 合計 964人
講 習 会 「昆 虫 摄 影 の 基 本 テ ク ニ ク と 最 新 テ ク ニ ク」	1月27日	むしむし写真コンテストの審査員である済和雄先生を講師に迎え、デジタルカメラを使った昆虫撮影の基本と最新の技法について講習会を行った。	20人
昆 虫 館 お 仕 事 体 験 (寄 附 者 対 象 )	1月27日	寄附者を対象に、昆虫に関する知識及び 昆虫愛護思想の普及を図るために、餌やり、放蝶など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	2家族 2人
カブトムシの里親	3月10日	カブトムシの幼虫の飼育方法を説明するとともに、参加者に幼虫を配布した。以後定期的に連絡し、幼虫の様子を確認するとともに、飼い方についての質問に応答する。	27組 85人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	昆虫の観察や昆虫とのふれあいを目的として、幼稚園・保育園の園児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	193件 6,717人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の職場体験学習に協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	2件 7人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
Colors ～虫の彩～	4月22日 ～5月 7日	青、赤、黄色、金属色など、美しい体色を持つ昆虫の生体、標本、写真等を展示し、その色の持つ意味や生きるうえでどう役立っているか、タマムシやモルフォチョウのキラキラ光り、色あせない構造色のしくみをパネルや模型を使ってわかりやすく解説した。また自由に着用できる昆虫の衣装を置いたコスプレ記念写真コーナーも会場に配置した。
むしむしおえかき展	5月 1日 ～3月31日	保育園・幼稚園の園児が描いた虫の絵を園ごとにまとめて展示した。 (2～3か月ごとに展示替え)
世界のカブト・ クワガタ	7月15日 ～9月 3日	世界のカブトムシ・クワガタムシの生体を展示し、ふれあい体験や記念撮影、カブ・クワバトルショー、カブトやクワガタの採集に効果のあるバナナトラップ作りやトラップしきかけ体験などのイベントを実施した。また、サマースクール参加者による展示昆虫の説明やクイズの読み上げなどサマースクールのお仕事体験の場として会場を活用した。
秋の鳴く虫展	9月 9日 ～9月24日	照明を落として、秋の夕べの野原を再現した昆虫ホールで美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。また9月9日にはオープンイベントとして、女性サックス・カルテットによる秋をテーマとした演奏会をがくしゅう室で開催した。
広島県の 赤トンボ	10月 7日 ～11月5日	近年急速にその頭数が減少しつつあるアキアカネの広島県の現状と減少の原因を、昆虫館友の会が数年にわたって県内のため池で調査した結果を紹介しながら、標本、写真、解説パネル、動画等でわかりやすく解説・展示した。また昆虫館職員と友の会会員による講演会「アキアカネの減少した理由」を10月8日及び10月22日に開催した。
むしむし写真 コンテスト 入賞作品展	1月13日 ～2月25日	「むしむし写真コンテスト」の入賞作品を展示した。
バレンタイン企画 「幸せを呼び寄せる？♡カメムシ」	2月10日 ～2月13日	バレンタインにちなんで、背中に鮮やかな黄色のハート型の斑紋が目立つエサキモンキカメムシの生体展示を行った。

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・市広報課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	テレビ 9 件 ラジオ 12 件 新聞 9 件 市民と市政 1 件  計 31 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 1,000 か所×2回 チラシ(写真コンテスト) 200 か所×1回 チラシ(新聞折込) 118,000 軒×3回
こんちゅう館Newsの発行	年 4回	昆虫館の裏話、職員おすすめの展示昆虫、イベントの紹介、希少な昆虫や季節の昆虫の紹介などを掲載したリーフレットを季節ごとに発行して館内で配布した。	200部×4回
ホームページによる広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス件数 55,770 件
フェイスブックによる広報	7月以降	フェイスブックを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	フォロワー件数 91 件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	6回
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間パスポート購入者の携帯電話及びパソコンに催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を配信した。	3 件
(公財)ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービスの活用	通 年	(公財)ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービス(会員約2万人)に施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	4 件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫カードや缶バッジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館のPR及び入館者の増加を図った。	昆虫シール 3,000 枚 缶バッジ 500 個

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マツダスタジアムにおける P R 活 動	5月24日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園の ASA ZOO-ZOO 広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1 回

(ヶ) 出版物の発行

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」	標本の作り方や身近な昆虫の飼い方を分かりやすく解説したリーフレットを作製、配布し、昆虫に関する知識の普及を図った。	1,500 部
「飼ってみよう」		1,500 部

(コ) 昆虫に関する相談

名 称	時 期	内 容	件 数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育相談、昆虫の生態の質問など、昆虫に関する相談を受けて助言指導した。	697 件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など [収1事業]

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内容
安佐動物公園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植物公園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆虫館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園(交通ランド)	自動販売機による清涼飲料水などの販売

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの收受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の收受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

（ア）入園料などの收受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区分			入園者数	使用料
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満 780円	45,375人 35,392,500円
		大人	65歳以上 340円	2,033人 691,220円
		小人	小中・高校生及び18歳未満 340円	48,534人 16,501,560円
	団体	大人	18歳以上 65歳未満 640円	21人 13,440円
		大人	65歳以上 270円	0人 0円
		小人	小中・高校生及び18歳未満 270円	304人 82,080円
	小計			96,267人 52,680,800円
	減免等入園者（障害者、その他）			33,172人 0円
	合計			129,439人 52,680,800円

【コインロッカー利用状況】

区分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	49,875回	4,987,500円

b 交通ランド

【利用状況】

区分			利用台数	使用料
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	19,978台	1,997,800円
		2人乗り(1台1回150円)	32,662台	4,899,300円
	団体	1人乗り(1台1回80円)	0台	0円
		2人乗り(1台1回120円)	64台	7,680円
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	574台	0円
		2人乗り(—)	6,635台	0円
合 計			59,913台	6,904,780円

(イ) 利用促進

名称	時期	内 容	参加者数等
交通ランドゴーカート運休日の運行	5月 1日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート運休日に運行し、利用者に対するサービスの向上を図った。	利用台数 60台
ファミリープール優待利用券の発行	6月1日 ～ 6月30日	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券をセットにした優待利用券を発行・販売し、新たな顧客の獲得に努めた。	販売枚数 2,808枚 利用枚数 1,797枚
ファミリープールポイントカードの発行	7月 1日 ～ 8月31日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配布枚数 32,900枚 達成枚数 1,122枚
ファミリープールイベント開催	7月26日 7月28日 8月 2日 8月 4日 8月18日 8月23日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサービスの向上を図った。	1日3回 18回
ファミリープール休園日の開園	8月 6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 3,953人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
交通ランドにおける広島市の交通安全行政への協力	通 年	交通安全教室やチャイルドシート取付講習など広島市が企画・実施する事業に協力した。
ファミリープール涼感サービスの提供	7月 1日 ～ 8月 31日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車(1,380円)	1,299台	1,792,620円
普通自動車(450円)	103,866台	46,739,700円
減 免 利 用	1,531台	0円
合 計	106,696台	48,532,320円

b 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車(1,380円)	163台	224,940円
普通自動車(450円)	44,701台	20,115,450円
減 免 利 用	1,420台	0円
合 計	46,284台	20,340,390円

(イ) 施設の維持管理

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や 小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ファミリープール 体験水泳教室	7月25日 8月 1日 8月22日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	76組 152人
中 央 公 園 樹名板づくり教室	12月17日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	71人

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
インターネット・ ホームページ広報 <small>(6ページの公益目的事業に重複記載)</small>	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 162,468 件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 15 件 新聞 4 件 情報誌等 7 件 計 26 件
ポスター広告及び PR用チラシの配布	5月23日 ～ 8月31日	小学校、公民館などにおいて、ファミリープールのポスター広告を行った。また、PR用チラシを作製し、公共施設などを通じて配布した。	ポスター 683 か所 チラシ 348 か所

7 事業報告の附属明細書  
記載すべき事項はありません。

# 決 算 報 告 書

## 第2 決算報告書

平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 1 貸借対照表

## 貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	299,299,047	289,927,399	9,371,648
未収金	2,596,328	1,486,317	1,110,011
商品	7,337,974	5,654,240	1,683,734
流動資産合計	309,233,349	297,067,956	12,165,393
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	30,824,736	29,488,360	1,336,376
減価償却引当資産	24,092,901	22,933,337	1,159,564
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,863,645	537,265	1,326,380
特定資産合計	474,868,216	471,045,896	3,822,320
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 1,228,726	△ 1,044,417	△ 184,309
車両運搬具	6,683,207	6,683,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 6,351,998	△ 6,068,114	△ 283,884
器具備品	21,551,476	20,572,211	979,265
器具備品減価償却累計額	△ 18,209,767	△ 17,401,075	△ 808,692
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	140,056	113,614	26,442
その他固定資産合計	5,423,884	5,695,062	△ 271,178
固定資産合計	592,292,100	588,740,958	3,551,142
資産合計	901,525,449	885,808,914	15,716,535

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	98,149,039	61,235,502	36,913,537
未払消費税等	15,753,800	9,967,000	5,786,800
未払法人税等	1,810,500	2,614,300	△ 803,800
前受金	527,000	584,000	△ 57,000
買掛金	7,904,027	8,896,836	△ 992,809
預り金	11,342,549	11,843,170	△ 500,621
賞与引当金	31,519,560	31,300,026	219,534
流動負債合計	167,006,475	126,440,834	40,565,641
2. 固定負債			
退職給付引当金	461,206,065	448,524,572	12,681,493
長期預り金	1,661,560	0	1,661,560
固定負債合計	462,867,625	448,524,572	14,343,053
負債合計	629,874,100	574,965,406	54,908,694
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	1,863,645	537,265	1,326,380
指定正味財産合計	505,463,645	504,137,265	1,326,380
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(405,463,645)	(404,137,265)	(1,326,380)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	△ 233,812,296	△ 193,293,757	△ 40,518,539
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
正味財産合計	(38,579,835)	(37,420,271)	(1,159,564)
負債及び正味財産合計	271,651,349	310,843,508	△ 39,192,159
	901,525,449	885,808,914	15,716,535

## 2 貸借対照表内訳表

## 貸 借 対 照 表 内 訳 表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	122,040,590	140,368,167	36,890,290		299,299,047
未収金	975,479	1,619,839	1,010		2,596,328
未収消費税等	1,127,836		917,139	△ 2,044,975	0
商品		7,337,974			7,337,974
流動資産合計	124,143,905	149,325,980	37,808,439	△ 2,044,975	309,233,349
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		30,824,736			30,824,736
減価償却引当資産	1,372,106	22,720,795			24,092,901
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,863,645				1,863,645
特定資産合計	419,870,079	54,998,137			474,868,216
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 1,228,726			△ 1,228,726
車両運搬具	1,703,310	4,979,897			6,683,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,372,106	△ 4,979,892			△ 6,351,998
器具備品	4,290,880	17,260,596			21,551,476
器具備品減価償却累計額	△ 3,187,588	△ 15,022,179			△ 18,209,767
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	140,056				140,056
その他固定資産合計	1,574,552	3,849,332			5,423,884
固定資産合計	533,444,631	58,847,469			592,292,100
資産合計	657,588,536	208,173,449	37,808,439	△ 2,044,975	901,525,449
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	49,015,498	18,550,655	30,582,886		98,149,039
未払消費税等	11,956,425	5,842,350		△ 2,044,975	15,753,800
未払法人税等		1,810,500			1,810,500
前受金	527,000				527,000
買掛金		7,904,027			7,904,027
預り金	1,632,365	2,484,631	7,225,553		11,342,549
賞与引当金	26,957,945	2,259,480	2,302,135		31,519,560
流動負債合計	90,089,233	38,851,643	40,110,574	△ 2,044,975	167,006,475
2. 固定負債					
退職給付引当金	385,528,658	30,824,736	44,852,671		461,206,065
長期預り金	530,000	1,131,560			1,661,560
固定負債合計	386,058,658	31,956,296	44,852,671		462,867,625
負債合計	476,147,891	70,807,939	84,963,245	△ 2,044,975	629,874,100
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	1,863,645				1,863,645
指定正味財産合計	505,463,645				505,463,645
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(405,463,645)				(405,463,645)
2. 一般正味財産	△ 324,023,000	137,365,510	△ 47,154,806		△ 233,812,296
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,406,434)	(24,173,401)			(38,579,835)
正味財産合計	181,440,645	137,365,510	△ 47,154,806		271,651,349
負債及び正味財産合計	657,588,536	208,173,449	37,808,439	△ 2,044,975	901,525,449

## 3 正味財産増減計算書

正 味 財 产 增 減 贡 算 書  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	100,250	0
基本財産受取利息振替額	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	91,916	91,916	0
緑化基金受取利息振替額	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	16,708	16,708	0
協会賞基金受取利息振替額	8,354	8,354	0
引当資産等受取利息	34,980	115,312	△ 80,332
受取会費			
会員受取会費	856,500	932,000	△ 75,500
事業収益			
利用料金収益	279,847,810	276,319,450	3,528,360
指定管理料収益	999,605,437	998,969,831	635,606
維持補修業務等受託収益	17,459,314	15,137,510	2,321,804
保護増殖業務受託収益	346,080	416,280	△ 70,200
売店等売上収益	172,745,729	176,233,968	△ 3,488,239
売店等事業収益	27,752,457	25,920,628	1,831,829
実費徴収金収益	2,329,736	2,338,387	△ 8,651
手数料収益	104,596	51,786	52,810
使用料収益	3,703,765	3,783,465	△ 79,700
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	106,752,282	75,076,242	31,676,040
受取動物管理助成金	506,950	544,900	△ 37,950
受取動物保護活動等助成金	296,000	266,000	30,000
受取負担金			
受取負担金	1,282,560	1,478,300	△ 195,740
受取寄付金			
受取寄付金	312,530	119,880	192,650
受取寄付金振替額	0	1,527,083	△ 1,527,083
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	44,524	4	44,520
雑収益	5,101,024	3,556,438	1,544,586
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	8,611,372	0	8,611,372
経常収益計	1,633,109,684	1,588,203,502	44,906,182

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	219,806,404	210,407,823	9,398,581
諸手当	190,461,360	187,108,656	3,352,704
報酬	122,720,092	116,471,004	6,249,088
賞与引当金繰入	29,217,425	29,128,621	88,804
賃金	91,192,531	89,528,077	1,664,454
退職給付費用	19,056,002	42,388,633	△ 23,332,631
福利厚生費	110,697,414	106,304,246	4,393,168
退職共済掛金	204,000	204,000	0
仕入費	81,132,934	83,609,820	△ 2,476,886
食糧費	169,456	300,694	△ 131,238
諸謝金	4,069,000	3,829,700	239,300
諸会費	913,890	849,670	64,220
報償費	828,770	650,111	178,659
旅費	3,829,770	2,728,776	1,100,994
通信運搬費	3,732,455	3,405,395	327,060
減価償却費	1,304,179	1,399,020	△ 94,841
消耗什器備品費	1,002,799	1,124,535	△ 121,736
消耗品費	111,301,762	104,900,555	6,401,207
器具備品購入費	433,695	246,780	186,915
車両運搬具購入費	0	1,095,544	△ 1,095,544
原材料費	745,999	1,638,882	△ 892,883
委託料	256,336,388	290,586,770	△ 34,250,382
修繕費	47,262,466	55,577,168	△ 8,314,702
工事請負費	0	1,819,638	△ 1,819,638
燃料費	31,708,193	20,235,788	11,472,405
光熱水費	139,814,062	131,938,354	7,875,708
手数料	2,178,584	3,196,228	△ 1,017,644
使用料及び賃借料	11,787,670	12,074,236	△ 286,566
保険料	2,863,929	2,213,341	650,588
租税公課費	60,322,275	58,106,448	2,215,827
負担金	1,592,597	1,592,179	418
補助金	790,800	597,700	193,100
協賛金	50,000	50,000	0
広報費	2,642,579	2,885,091	△ 242,512
商品開発費	97,200	8,100	89,100
指定管理納付金	7,583,490	6,661,140	922,350
固定資産除却損	1	0	1

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	20,029,200	19,658,928	370,272
諸手当	19,300,468	17,879,404	1,421,064
報酬	10,386,874	10,323,138	63,736
賞与引当金繰入	2,302,135	2,171,405	130,730
賃金	7,499,912	3,767,163	3,732,749
退職給付費用	29,513,746	6,245,090	23,268,656
福利厚生費	9,038,677	8,431,906	606,771
退職共済掛金	264,000	264,000	0
会議費	166,160	157,030	9,130
交際費	5,000	0	5,000
諸謝金	429,000	440,000	△ 11,000
諸会費	290,960	252,960	38,000
報償費	4,536	4,536	0
旅費	241,328	202,280	39,048
通信運搬費	922,991	971,706	△ 48,715
消耗品費	1,053,596	1,042,426	11,170
委託料	850,296	873,202	△ 22,906
手数料	114,983	103,232	11,751
使用料及び賃借料	10,845,451	10,827,529	17,922
負担金	665,159	642,039	23,120
協賛金	40,000	140,000	△ 100,000
雑費	3,080	2,560	520
経常費用計	1,671,817,723	1,659,263,257	12,554,466
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 38,708,039	△ 71,059,755	32,351,716
当期経常増減額	△ 38,708,039	△ 71,059,755	32,351,716
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 38,708,039	△ 71,059,755	32,351,716
法人税、住民税及び事業税	1,810,500	2,614,300	△ 803,800
当期一般正味財産増減額	△ 40,518,539	△ 73,674,055	33,155,516
一般正味財産期首残高	△ 193,293,757	△ 119,619,702	△ 73,674,055
一般正味財産期末残高	△ 233,812,296	△ 193,293,757	△ 40,518,539

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	1,326,380	1,428,164	△ 101,784
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,207,164	△ 5,734,247	1,527,083
当期指定正味財産増減額	1,326,380	△ 98,919	1,425,299
指定正味財産期首残高	504,137,265	504,236,184	△ 98,919
指定正味財産期末残高	505,463,645	504,137,265	1,326,380
III 正味財産期末残高	271,651,349	310,843,508	△ 39,192,159

## 4 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息					34,980		34,980			34,980
受取会費										
会員受取会費		856,500		856,500						856,500
事業収益										
利用料金収益		153,306,800		153,306,800		126,541,010	126,541,010			279,847,810
指定管理料収益		833,065,981		833,065,981		166,539,456	166,539,456			999,605,437
維持補修業務等受託収益		15,482,914		15,482,914		1,976,400	1,976,400			17,459,314
保護増殖業務受託収益		346,080		346,080						346,080
売店等売上収益					172,745,729		172,745,729			172,745,729
売店等事業収益					27,346,773	405,684	27,752,457			27,752,457
実費徴収金収益					2,329,736		2,329,736			2,329,736
手数料収益					104,596		104,596			104,596
使用料収益					3,703,765		3,703,765			3,703,765
受取補助金等								106,752,282		
受取協会運営等補助金										106,752,282
受取動物管理助成金		506,950		506,950						506,950
受取動物保護活動等助成金		296,000		296,000						296,000
受取負担金										
受取負担金	214,500	1,068,060		1,282,560						1,282,560
受取寄付金										
受取寄付金		312,530		312,530						312,530
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	23,854			23,854	20,670		20,670			44,524
雑収益	338,417	1,982,519		2,320,936	361,359	535,190	896,549	1,883,539		5,101,024
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		8,611,372		8,611,372						8,611,372
経常収益計	4,140,683	1,017,687,832	0	1,021,828,515	206,647,608	295,997,740	502,645,348	108,635,821		1,633,109,684

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		208,251,904		208,251,904	11,554,500		11,554,500			219,806,404
諸手当		176,959,731	6,357,439	183,317,170	6,329,704	814,486	7,144,190			190,461,360
報酬	1,499,860	87,036,482		88,536,342	13,758,018	20,425,732	34,183,750			122,720,092
賞与引当金繰入		25,992,749	965,196	26,957,945	1,417,886	841,594	2,259,480			29,217,425
賃金		60,680,916		60,680,916	22,430,397	8,081,218	30,511,615			91,192,531
退職給付費用		16,604,185		16,604,185	2,451,817		2,451,817			19,056,002
福利厚生費	246,606	93,559,665	5,784,327	99,590,598	6,287,520	4,819,296	11,106,816			110,697,414
退職共済掛金					204,000		204,000			204,000
仕入費					81,132,934		81,132,934			81,132,934
食糧費		169,456		169,456						169,456
諸謝金	525,000	3,508,000		4,033,000		36,000	36,000			4,069,000
諸会費		832,690		832,690	81,200		81,200			913,890
報償費	120,000	708,770		828,770						828,770
旅費	19,040	3,714,250		3,733,290	96,480		96,480			3,829,770
通信運搬費	56,413	3,441,963		3,498,376	92,128	141,951	234,079			3,732,455
減価償却費		117,321	283,884	401,205	902,974		902,974			1,304,179
消耗什器備品費		296,847		296,847	705,952		705,952			1,002,799
消耗品費	1,056,336	105,335,303		106,391,639	2,466,406	2,443,717	4,910,123			111,301,762
器具備品購入費		433,695		433,695		0	0			433,695
原材料費		745,999		745,999		0	0			745,999
委託料	1,290,600	112,146,161		113,436,761	1,821,786	141,077,841	142,899,627			256,336,388
修繕費		26,707,938		26,707,938	528,675	20,025,853	20,554,528			47,262,466
燃料費		31,349,896	36,494	31,386,390	37,195	284,608	321,803			31,708,193
光熱水費		85,578,314		85,578,314	5,924,186	48,311,562	54,235,748			139,814,062
手数料	33,270	1,664,814	810	1,698,894	236,956	242,734	479,690			2,178,584
使用料及び賃借料		6,423,050	10,760	6,433,810	4,274,508	1,079,352	5,353,860			11,787,670
保険料		1,269,318	12,960	1,282,278	347,631	1,234,020	1,581,651			2,863,929
租税公課費		45,596,853	39,500	45,636,353	7,814,375	6,871,547	14,685,922			60,322,275
負担金	1,100,000	459,112		1,559,112	33,485		33,485			1,592,597
補助金	790,800			790,800						790,800
協賛金		50,000		50,000						50,000
広報費		2,394,029		2,394,029	248,550		248,550			2,642,579
商品開発費					97,200		97,200			97,200
指定管理納付金		6,892,270		6,892,270		691,220	691,220			7,583,490
固定資産除却損					1		1			1

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								20,029,200		20,029,200
諸手当								19,300,468		19,300,468
報酬								10,386,874		10,386,874
賞与引当金繰入								2,302,135		2,302,135
賃金								7,499,912		7,499,912
退職給付費用								29,513,746		29,513,746
福利厚生費								9,038,677		9,038,677
退職共済掛金								264,000		264,000
会議費								166,160		166,160
交際費								5,000		5,000
諸謝金								429,000		429,000
諸会費								290,960		290,960
報償費								4,536		4,536
旅費								241,328		241,328
通信運搬費								922,991		922,991
消耗品費								1,053,596		1,053,596
委託料								850,296		850,296
手数料								114,983		114,983
使用料及び賃借料								10,845,451		10,845,451
負担金								665,159		665,159
協賛金								40,000		40,000
雑費								3,080		3,080
経常費用計	6,737,925	1,108,921,681	13,491,370	1,129,150,976	171,276,464	257,422,731	428,699,195	113,967,552		1,671,817,723
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,597,242	△ 91,233,849	△ 13,491,370	△ 107,322,461	35,371,144	38,575,009	73,946,153	△ 5,331,731		△ 38,708,039
当期経常増減額	△ 2,597,242	△ 91,233,849	△ 13,491,370	△ 107,322,461	35,371,144	38,575,009	73,946,153	△ 5,331,731		△ 38,708,039
他会計振替額	1,219,016	68,114,890	13,794,794	83,128,700	△ 31,286,413	△ 53,502,414	△ 84,788,827	1,660,127		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,378,226	△ 23,118,959	303,424	△ 24,193,761	4,084,731	△ 14,927,405	△ 10,842,674	△ 3,671,604		△ 38,708,039
法人税、住民税及び事業税					1,810,500		1,810,500			1,810,500
当期一般正味財産増減額	△ 1,378,226	△ 23,118,959	303,424	△ 24,193,761	2,274,231	△ 14,927,405	△ 12,653,174	△ 3,671,604		△ 40,518,539
一般正味財産期首残高	65,865,039	△ 366,128,968	434,690	△ 299,829,239	135,932,873	14,085,811	150,018,684	△ 43,483,202		△ 193,293,757
一般正味財産期末残高	64,486,813	△ 389,247,927	738,114	△ 324,023,000	138,207,104	△ 841,594	137,365,510	△ 47,154,806		△ 233,812,296

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息		8,354		8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金		1,326,380		1,326,380						1,326,380
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 751,876		△ 4,207,164						△ 4,207,164
当期指定正味財産増減額	0	1,326,380		1,326,380						1,326,380
指定正味財産期首残高	413,600,000	90,537,265		504,137,265						504,137,265
指定正味財産期末残高	413,600,000	91,863,645		505,463,645						505,463,645
III 正味財産期末残高	478,086,813	△ 297,384,282	738,114	181,440,645	138,207,104	△ 841,594	137,365,510	△ 47,154,806		271,651,349

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賃基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	29,488,360	1,336,376	—	30,824,736
減価償却引当資産	22,933,337	1,159,564	—	24,092,901
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	537,265	1,326,380	—	1,863,645
小 計	471,045,896	3,822,320	—	474,868,216
合 計	583,045,896	3,822,320	—	586,868,216

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	( 100,000,000)	( 12,000,000)	( —)
小 計	112,000,000	( 100,000,000)	( 12,000,000)	( —)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	( 402,600,000)	( 11,034,328)	( —)
広島市みどり生きもの協会賃基金積立資産	3,000,000	( 1,000,000)	( 2,000,000)	( —)
退職給付引当資産	30,824,736	( —)	( —)	( 30,824,736)
減価償却引当資産	24,092,901	( —)	( 24,092,901)	( —)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	( —)	( 1,452,606)	( —)
みどり生きものサポーター募金積立資産	1,863,645	( 1,863,645)	( —)	( —)
小 計	474,868,216	( 405,463,645)	( 38,579,835)	( 30,824,736)
合 計	586,868,216	( 505,463,645)	( 50,579,835)	( 30,824,736)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,874,593	547,747,200	19,872,607
第327回利付国債	899,791	938,790	38,999
合 計	528,774,384	548,685,990	19,911,606

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	46,758	106,924,000	106,799,040	171,718	流動負債(※)
助成金 動物管理助成金 (公社)日本動物園水族館協会	(公社)日本動物園水族館協会	0	506,950	506,950	0	—
動物保護活動等助成金 (公社)日本動物園水族館協会	(公社)日本動物園水族館協会	0	296,000	296,000	0	—
合 計		46,758	107,726,950	107,601,990	171,718	

※ 当該残高は、単年度事業に係る補助金の精算返還金（未払金）である。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
合 計	4,207,164

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 法 人 等 の 名 称 性 性	人 法 人 等 の 名 称 性 性	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容	取引の内容	取引金額	科目	期末 残高	
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市	中 区	理 事 1 5 名 中 市 職 員 3 名 元 市 職 員 3 名	— — —		市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,010,102,000	未払金	10,496,563
								広島市の公園及び公園施設の維持修繕等	17,459,314	未払金	0
								協会事業に対する補助	106,924,000	未払金	171,718

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。上表の「期末残高」欄の金額は、広島市への精算返還金（未払金）である。

## 6 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	31,300,026	31,519,560	31,300,026	-	31,519,560
退職給付引当金	448,524,572	32,651,897	19,970,404	-	461,206,065

## 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 定期預金 鳥取銀行広島支店 西日本シティ銀行広島支店 もみじ銀行紙屋町支店 西京銀行広島支店 信用組合広島商銀本店営業部 広島県信用漁業協同組合連合会本店 振替口座 ゆうちょ銀行日浦郵便局 ゆうちょ銀行広島城山郵便局 ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 売店業務等委託先業者ほか オリジナルグッズ他	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 販売手数料等 来園者等への販売用	17,246,332 85,467,952 78,299,301 53,896,005 6,103,952 6,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 1,501,615 634,370 149,520 2,596,328 7,337,974
未収金 商品			
流動資産合計			309,233,349
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券 第368回大阪府公募公債	412,736,000
	広島市みどり生きもの 協会賞基金積立資産	第327回利付国債 投資有価証券 第368回大阪府公募公債	898,328
	退職給付引当資産	普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 定期預金 広島銀行安支店 広島県信用組合安古市支店 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 定期預金 鳥取銀行広島支店 広島市信用組合安支店 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行本店営業部 定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行本店営業部 定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店	3,000,000 4,488,360 1,336,376 10,000,000 10,000,000 5,000,000 5,217,221 467,413 408,267 4,000,000 10,000,000 4,000,000 452,606 1,000,000 1,741,338 32,000 90,307
	減価償却引当資産		
	備品等購入資金積立資産		
	みどり生きものサポーター 募金積立資産		
その他固定資産	建物 構築物 車両運搬具 器具備品 電話加入権 投資有価証券	植物公園 溫室及び倉庫6.2.3m <sup>2</sup> 安佐動物公園 仮設売店 9.7m <sup>2</sup> 普通乗用車1台 小型貨物等3台、スクーター2台 デジタルカメラ等2点 冷蔵庫等73点 安佐動物公園 管理事務所 第368回大阪府公募公債 第327回利付国債	2 1,535,924 331,204 5 1,103,292 2,238,417 74,984 138,593 1,463
固定資産合計			592,292,100
資産合計			901,525,449

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか 広島東税務署	委託料等の未払額	98,149,039
	未払消費税等	広島東税務署	平成29年度消費税及び地方消費税の未払額	15,753,800
	未払法人税等	広島動物愛好会等会員	平成29年度法人税等の未払額	1,810,500
	前受金	商品仕入先業者	平成30年度分前受会費	527,000
	貿掛金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	売店等における商品仕入れの貿掛額	7,904,027
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	11,342,549
	賞与引当金		職員116名に対する賞与の支払いに備えたもの	31,519,560
流動負債合計				167,006,475
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員62名に対する退職金の支払いに備えたもの	461,206,065
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	1,661,560
固定負債合計				462,867,625
負債合計				629,874,100
正味財産				271,651,349

## 監査報告書

平成30年5月17日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
理事長 岡村清治様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
監事 神田敏治  
公益財団法人広島市みどり生きもの協会  
監事 久光章

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上のことに基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上